
亀岡市
地域福祉に関するアンケート調査報告書
【民生委員・児童委員、自治会役員】

令和5年10月
亀岡市

I. アンケート調査実施概要

1. 調査の目的

本調査は、地域において直接住民と関わる活動をされている皆様のお考えやご意見を計画策定に反映するため、自治会役員及び民生委員・児童委員を対象としてアンケート調査を実施しました。

2. 調査概要

- 調査地域：亀岡市全域
- 調査対象：亀岡市在住の自治会役員
亀岡市在住の民生委員・児童委員
- 調査期間：令和5年7月21日～8月11日
- 調査方法：郵送による配布・回収

調査票	調査対象者数 (配布数)	有効回収数	有効回収率
自治会役員 民生委員・児童委員	498	306	61.4%

3. 報告書の見方

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- クロス集計表の表側（分類層）は、無回答を除いているため、各層の実数と集計対象総数が一致しないことがあります。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「n (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。

II. アンケート調査実施結果

1. 回答者の状況について

問1 あなたのお住まいは、どの地区にありますか。〈単数回答〉

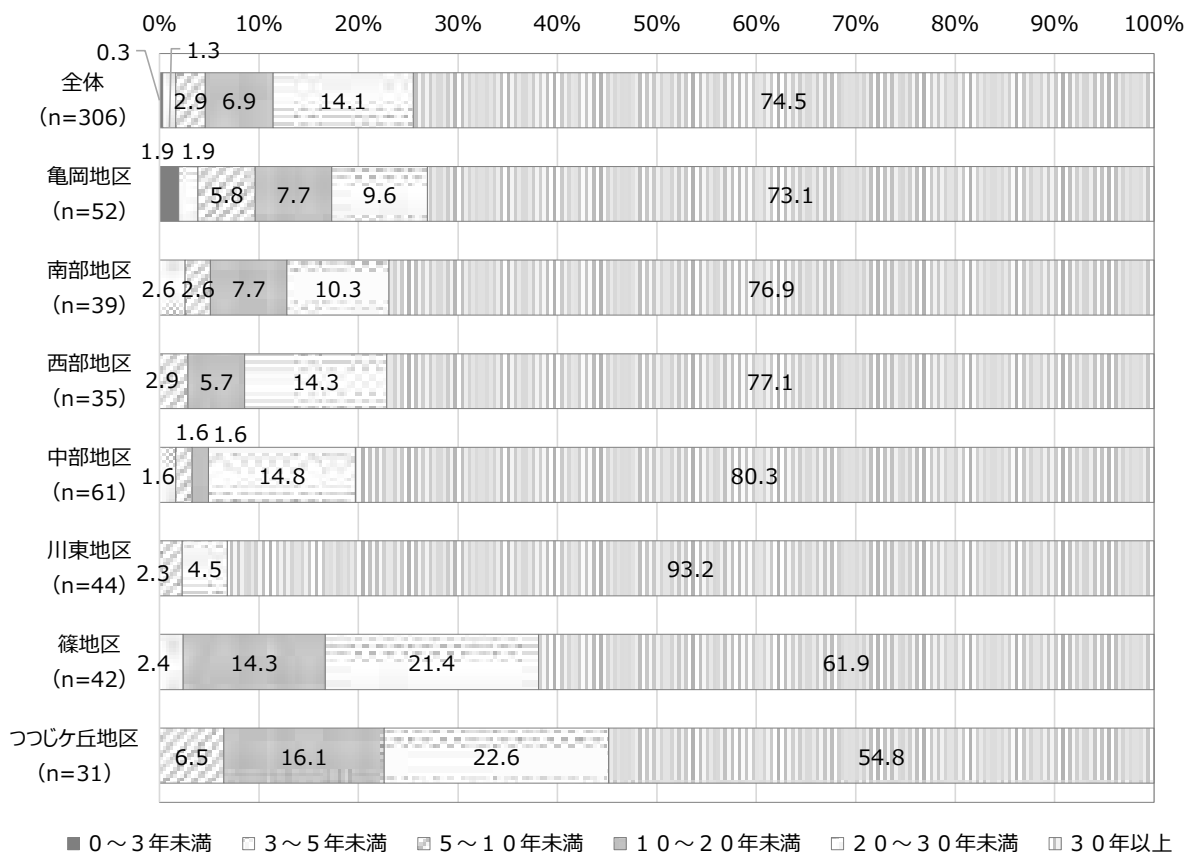
回答者の住まいの地区をみると、「中部地区」が19.9%と最も高く、次いで「亀岡地区」が17.0%、「川東地区」が14.4%となっています。



問2 現在、お住まいの地区の居住年数を教えてください。〈単数回答〉

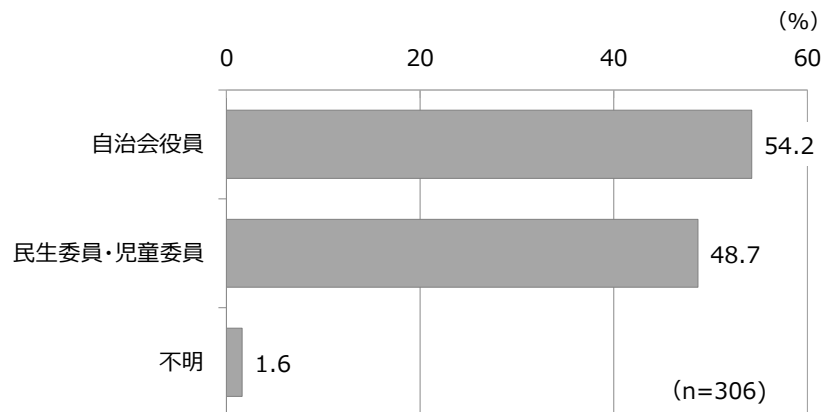
居住年数をみると、「30年以上」が74.5%と最も高く、次いで「20～30年未満」が14.1%、「10～20年未満」が6.9%となっています。

地区別をみると、すべての地区で「30年以上」が高くなっています。



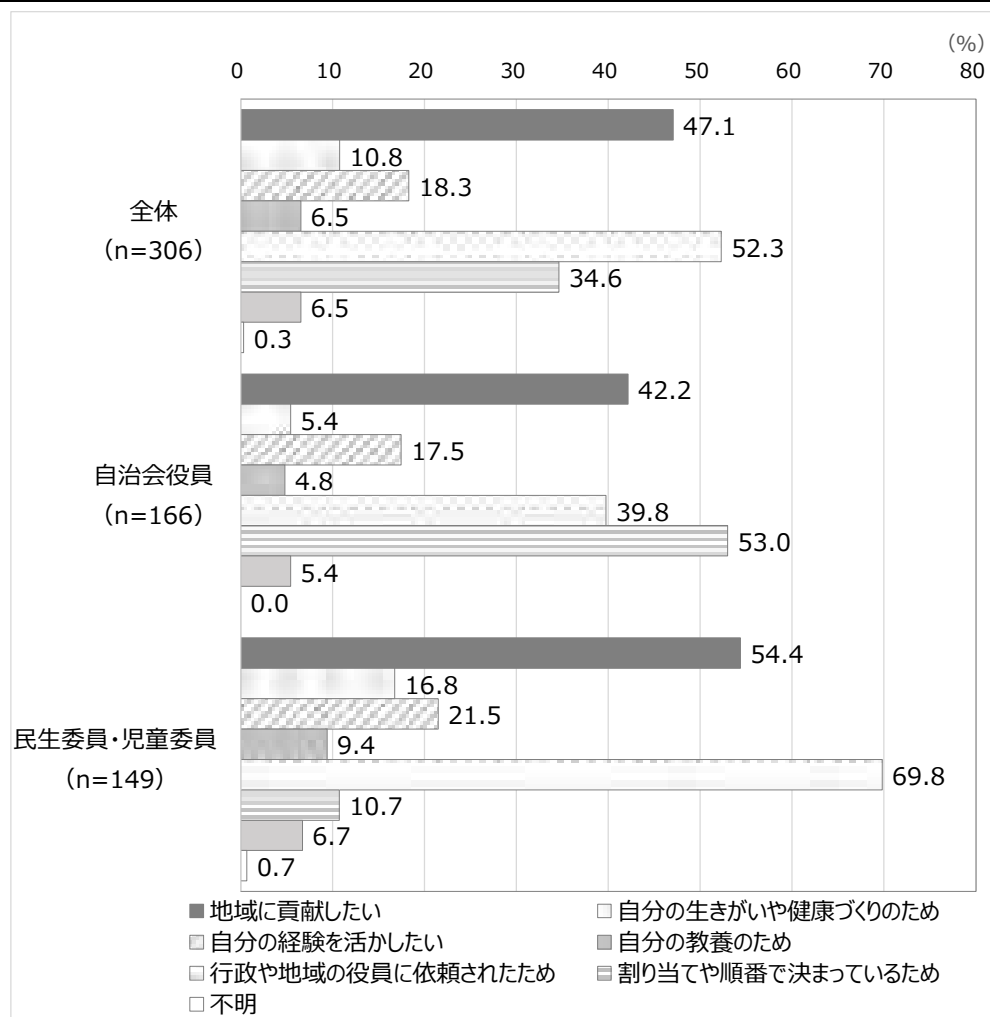
問3 あなたが担っている地域の役割は何ですか。〈複数回答〉*いくつかでも

地域の役割をみると、「自治会役員」が 54.2%、「民生委員・児童委員」が 48.7%となっています。



問4 活動に関わっている理由は何ですか。〈複数回答〉*3つまで

活動に関わっている理由をみると、自治会役員では「割り当てや順番で決まっているため」が 53.0%、民生委員・児童委員では「行政や地域の役員に依頼されたため」が 69.8%と最も多くなっています。

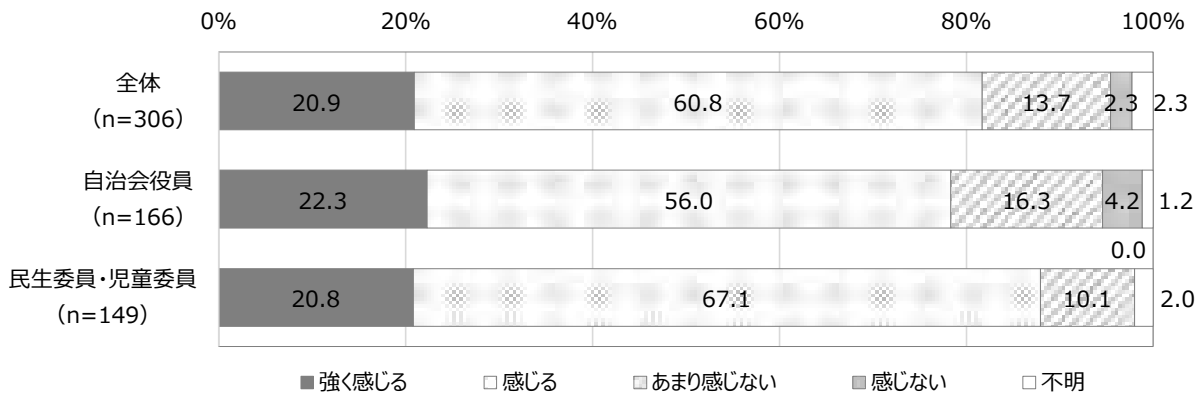


問5 現在の活動についてどのように感じていますか。〈単数回答〉

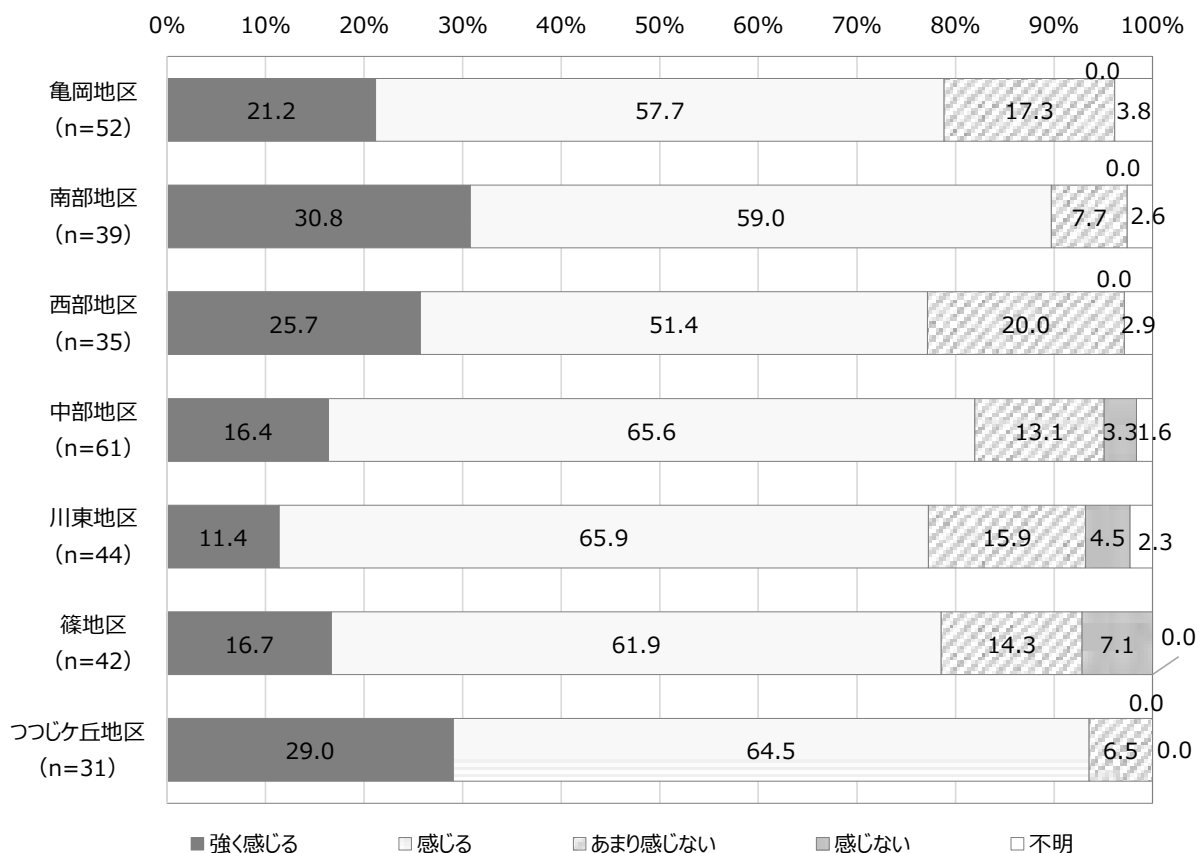
① やりがい・使命感

活動のやりがい・使命感をみると、『感じる（「強く感じる」「感じる」の合計）』の割合は81.7%、『感じない（「あまり感じない」「感じない」の合計）』は16.0%となっています。

役割別をみると、『感じる』は、自治会役員では78.3%、民生委員・児童委員では87.9%となっています。



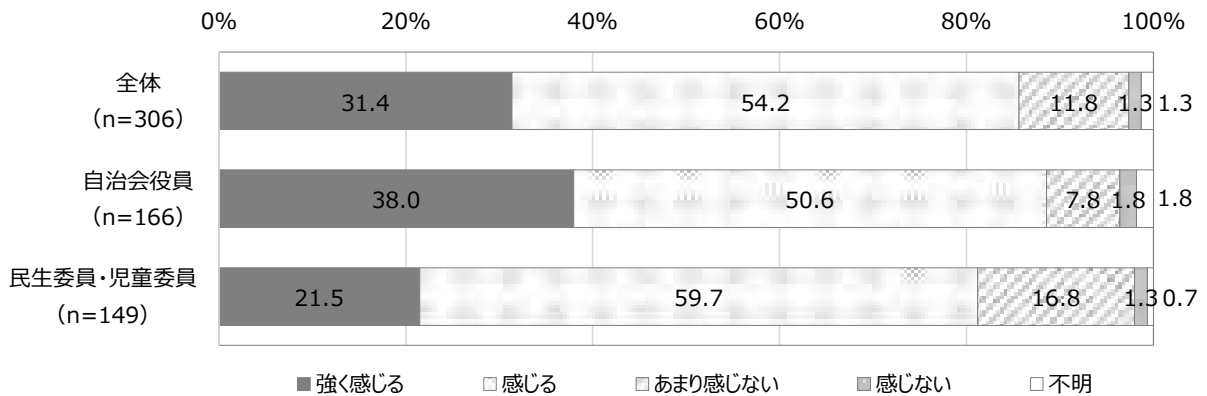
地区別をみると、つつじヶ丘地区で『感じる』が93.5%ともっとも高くなっています。



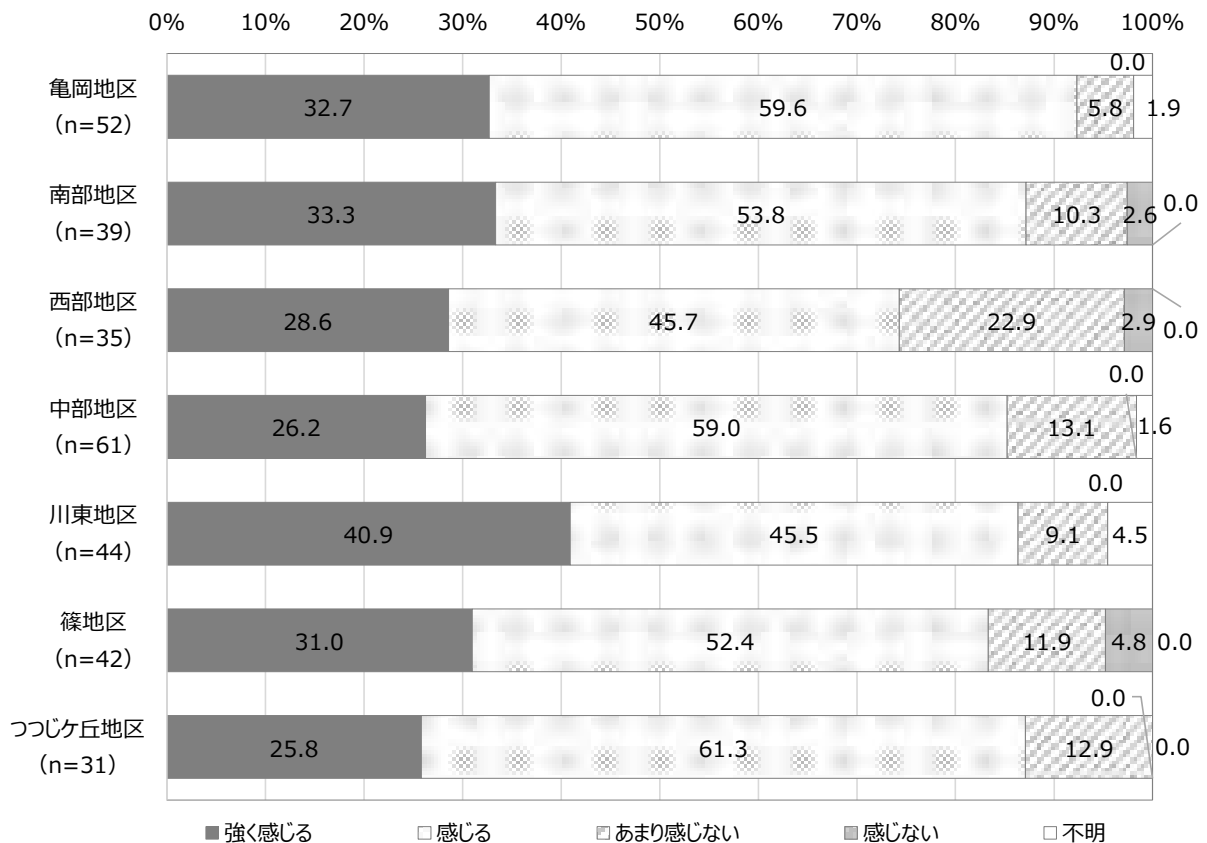
②負担感

活動の負担感をみると、『感じる（「強く感じる」「感じる」の合計）』の割合は85.6%、『感じない（「あまり感じない」「感じない」の合計）』は13.1%となっています。

役割別をみると、『感じる』は、自治会役員では88.6%、民生委員・児童委員では81.2%となっています。



地区別をみると、亀岡地区で『感じる』が92.3%ともっとも高くなっています。

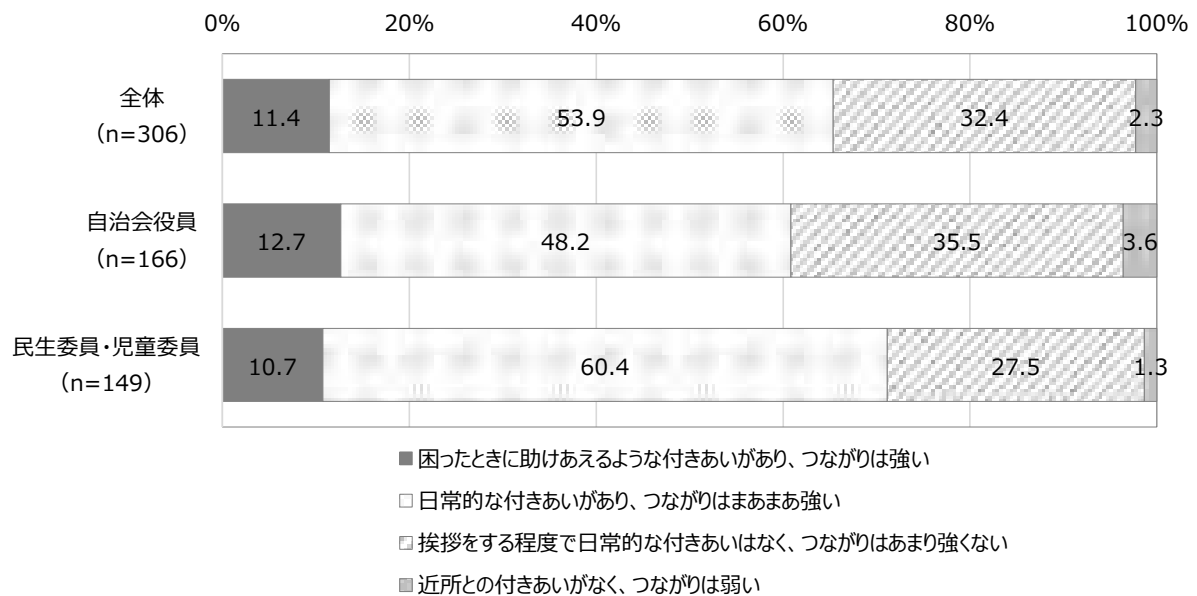


2. 地域について

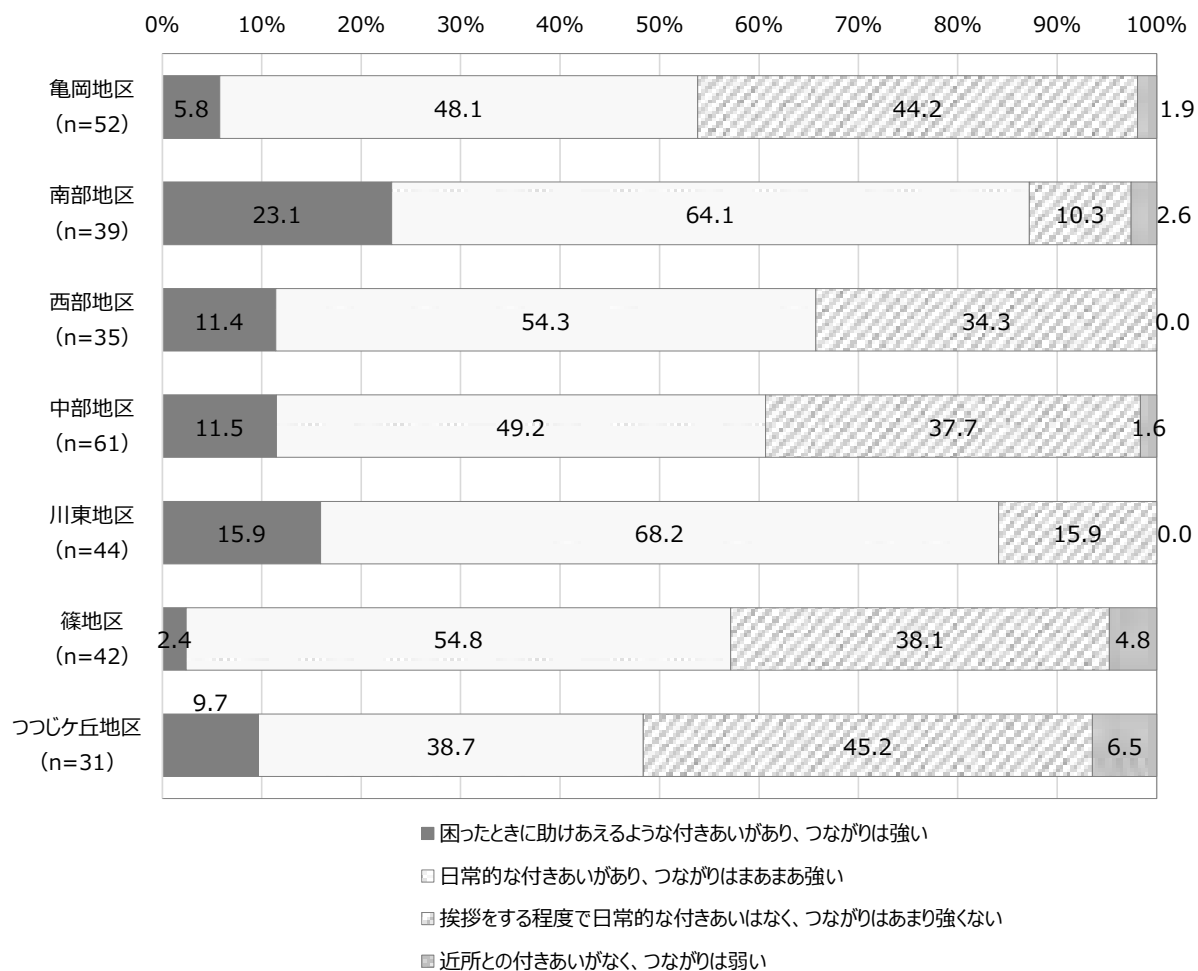
問6 あなたがお住まいの地域では、地域のつながりが強いですか。〈単数回答〉

地域のつながりが強いかをみると、「日常的な付き合いがあり、つながりはまあまあ強い」が53.9%と最も高く、次いで「挨拶をする程度で日常的な付き合いはなく、つながりはあまり強くない」が32.4%、「困ったときに助けあえるような付き合いがあり、つながりは強い」が11.4%となっています。

役割別をみると、すべての役割で「日常的な付き合いがあり、つながりはまあまあ強い」が高くなっています。



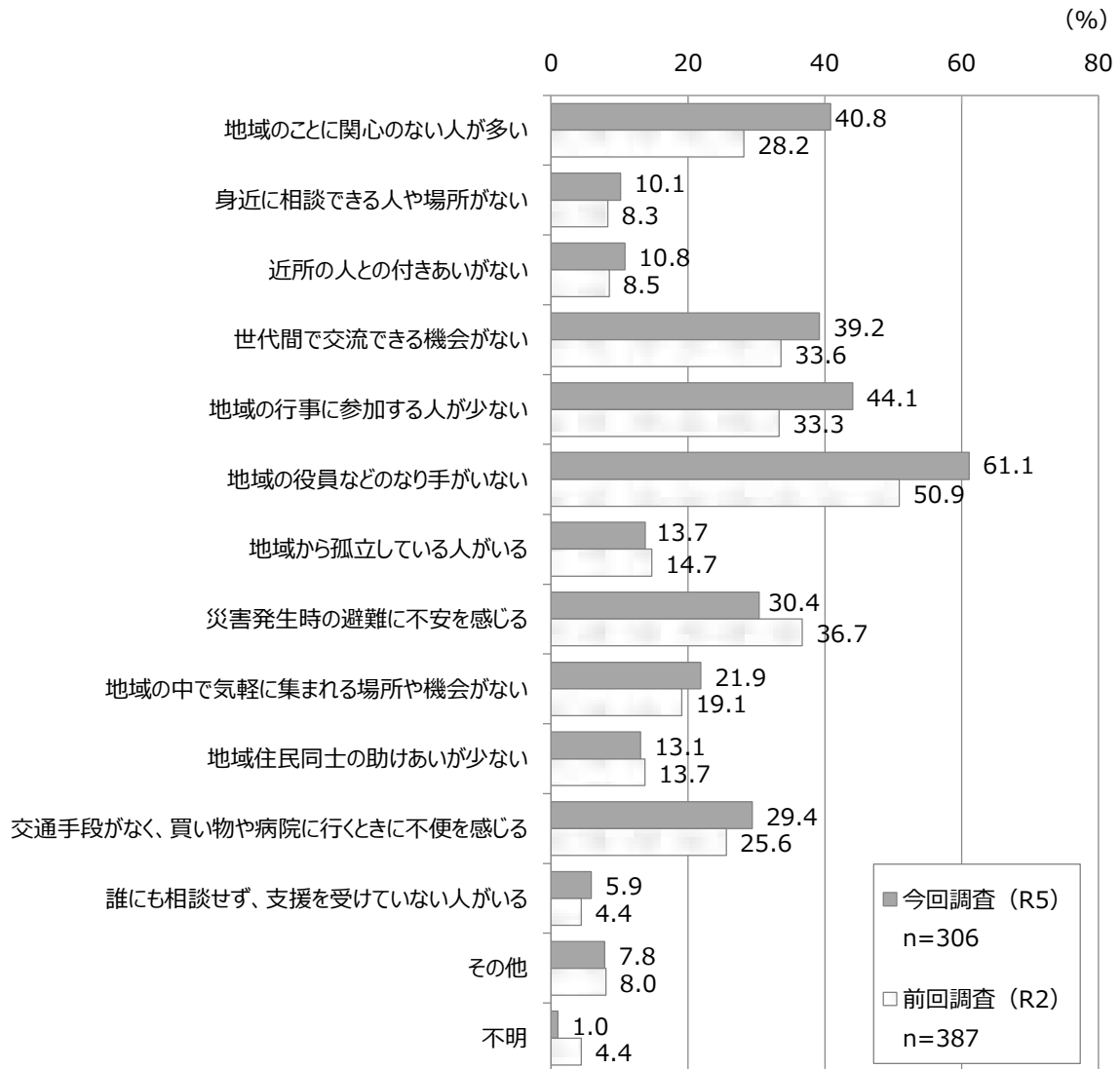
地区別をみると、南部地区では「困ったときに助けあえるような付き合いがあり、つながりは強い」がほかの地区と比べて高くなっています。亀岡地区、つつじが丘地区では「挨拶をする程度で日常的な付き合いはなく、つながりはあまり強くない」がほかの地区と比べて高くなっています。



問7 あなたがお住まいの地域の中で、課題に感じることは何ですか。〈複数回答〉* 5つまで

地域の課題をみると、「地域の役員などのなり手がいない」が61.1%と最も高く、次いで「地域の行事に参加する人が少ない」が44.1%、「地域のことに興味のない人が多い」が40.8%となっています。

前回調査と比較すると、「地域のことに興味のない人が多い」が12.6ポイント、「地域の行事に参加する人が少ない」が10.8ポイント、「地域の役員などのなり手がいない」が10.2ポイント高くなっています。



役割別をみると、すべての役割で「地域の役員などのなり手がいない」が高くなっています。

(%)	合計	地域のことに 関心のない人 が多い	身近に相 談できる 人や場所 がない	近所の人 との付きあ いがいい	世代間で 交流でき る機会が ない	地域の行 事に参加 する人が 少ない	地域の役 員などの なり手が いない	地域から 孤立して いる人が いる	災害発生 時の避難 に不安を 感じる
全体 (n=306)	100.0	40.8	10.1	10.8	39.2	44.1	61.1	13.7	30.4
自治会役員 (n=166)	100.0	44.6	10.2	14.5	32.5	47.0	63.3	15.1	29.5
民生委員・児童委員 (n=149)	100.0	37.6	9.4	7.4	47.0	40.3	56.4	13.4	32.2

(%)	地域の中 で気軽に 集まれる 場所や機 会がない	地域住民 同士の助 けあいが 少ない	交通手段 がなく、買 い物や病 院に行く ときに不 便を感じる	誰にも相 談せず、 支援を受 けていな い人がい る	その他	不明
全体 (n=306)	21.9	13.1	29.4	5.9	7.8	1.0
自治会役員 (n=166)	18.1	13.3	27.1	5.4	11.4	0.6
民生委員・児童委員 (n=149)	26.8	12.8	32.2	6.7	4.0	1.3

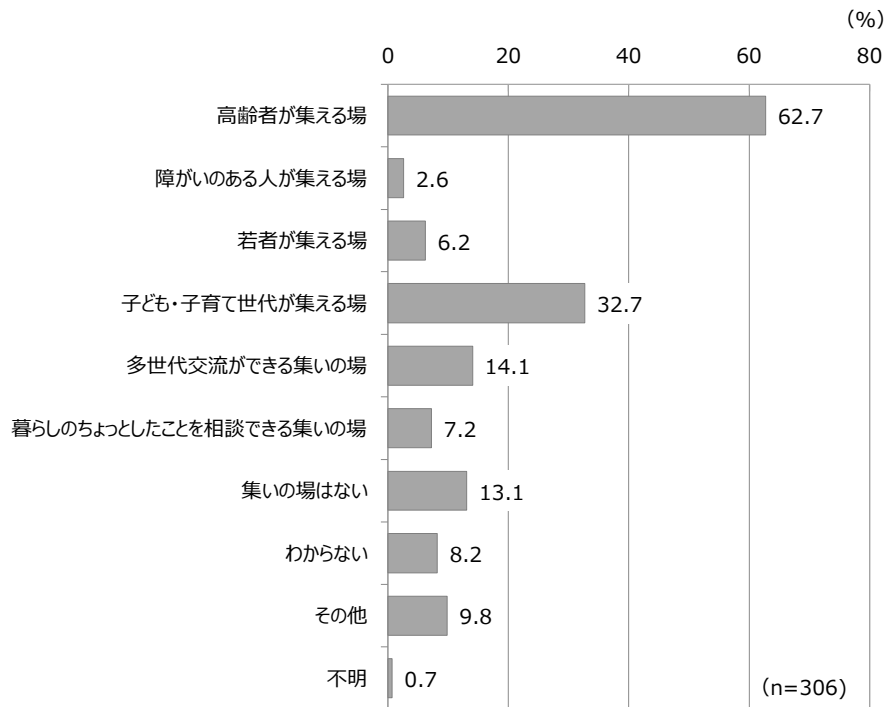
地区別をみると、どの地区においても「地域の役員などのなり手がいない」がもっとも高くなっています。亀岡地区、中部地区、つつじヶ丘地区では「地域の行事に参加する人が少ない」、南部地区、西部地区では「交通手段がなく、買い物や病院に行くときに不便を感じる」、川東地区、篠地区では「世代間交流できる機会がない」が高くなっています。

(%)	合計	地域のことに 関心のない人 が多い	身近に相 談できる 人や場所 がない	近所の人 との付きあ いがない	世代間で 交流でき る機会が ない	地域の行 事に参加 する人が 少ない	地域の役 員などの なり手が いない	地域から 孤立して いる人が いる	災害発生 時の避難 に不安を 感じる
全体 (n=306)	100.0	40.8	10.1	10.8	39.2	44.1	61.1	13.7	30.4
亀岡地区 (n=52)	100.0	48.1	17.3	17.3	42.3	50.0	76.9	13.5	34.6
南部地区 (n=39)	100.0	41.0	2.6	5.1	41.0	41.0	53.8	12.8	38.5
西部地区 (n=35)	100.0	40.0	5.7	11.4	34.3	48.6	60.0	25.7	37.1
中部地区 (n=61)	100.0	49.2	11.5	9.8	32.8	54.1	57.4	11.5	26.2
川東地区 (n=44)	100.0	31.8	13.6	6.8	45.5	27.3	65.9	13.6	29.5
篠地区 (n=42)	100.0	38.1	11.9	7.1	45.2	38.1	59.5	9.5	23.8
つつじヶ丘地区 (n=31)	100.0	32.3	3.2	16.1	35.5	48.4	51.6	12.9	22.6

(%)	地域の中 で気軽に 集まれる 場所や機 会がない	地域住民 同士の助 けあいが 少ない	交通手段 がなく、買 い物や病 院に行く ときに不 便を感じ る	誰にも相 談せず、 支援を受 けていな い人がい る	その他	不明
全体 (n=306)	21.9	13.1	29.4	5.9	7.8	1.0
亀岡地区 (n=52)	25.0	15.4	7.7	1.9	7.7	0.0
南部地区 (n=39)	23.1	7.7	46.2	12.8	5.1	5.1
西部地区 (n=35)	20.0	14.3	57.1	8.6	5.7	0.0
中部地区 (n=61)	18.0	14.8	32.8	8.2	9.8	0.0
川東地区 (n=44)	31.8	6.8	38.6	6.8	4.5	0.0
篠地区 (n=42)	16.7	11.9	9.5	0.0	14.3	2.4
つつじヶ丘地区 (n=31)	16.1	22.6	19.4	3.2	6.5	0.0

問8 あなたがお住まいの地域の中では、どのような集いの場や居場所、交流の場等がありますか。〈複数回答〉*いくつでも

地域の集いの場や居場所、交流の場の状況を見ると、「高齢者が集える場」が最も高く、62.7%となっています。次いで「子ども・子育て世代が集える場」が32.7%、「多世代交流ができる集いの場」が14.1%となっています。



地区別をみると、どの地区においても「高齢者が集える場」がもっとも高く、次いで「子ども・子育て世代が集える場」が高くなっています。

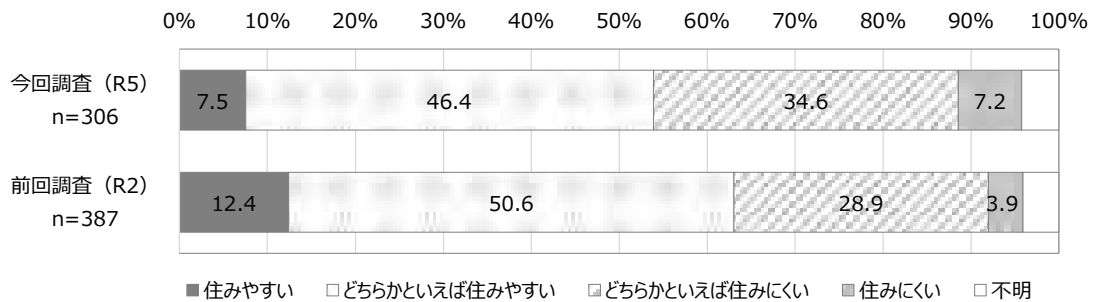
(%)	合計	高齢者が集える場	障がいのある人が集える場	若者が集える場	子ども・子育て世代が集える場	多世代交流ができる集いの場	暮らしのちょっとしたことを相談できる集いの場	集いの場はない	わからない	その他	不明
全体 (n=306)	100.0	62.7	2.6	6.2	32.7	14.1	7.2	13.1	8.2	9.8	0.7
亀岡地区 (n=52)	100.0	59.6	3.8	3.8	21.2	17.3	7.7	7.7	11.5	11.5	0.0
南部地区 (n=39)	100.0	64.1	0.0	5.1	25.6	12.8	5.1	17.9	5.1	10.3	0.0
西部地区 (n=35)	100.0	77.1	5.7	8.6	20.0	11.4	11.4	11.4	2.9	0.0	0.0
中部地区 (n=61)	100.0	59.0	0.0	3.3	36.1	4.9	8.2	14.8	9.8	13.1	1.6
川東地区 (n=44)	100.0	63.6	4.5	11.4	36.4	25.0	4.5	11.4	6.8	6.8	0.0
篠地区 (n=42)	100.0	40.5	2.4	4.8	28.6	9.5	4.8	26.2	11.9	16.7	0.0
つづじヶ丘地区 (n=31)	100.0	87.1	3.2	6.5	67.7	22.6	9.7	0.0	3.2	6.5	3.2

3. 福祉について

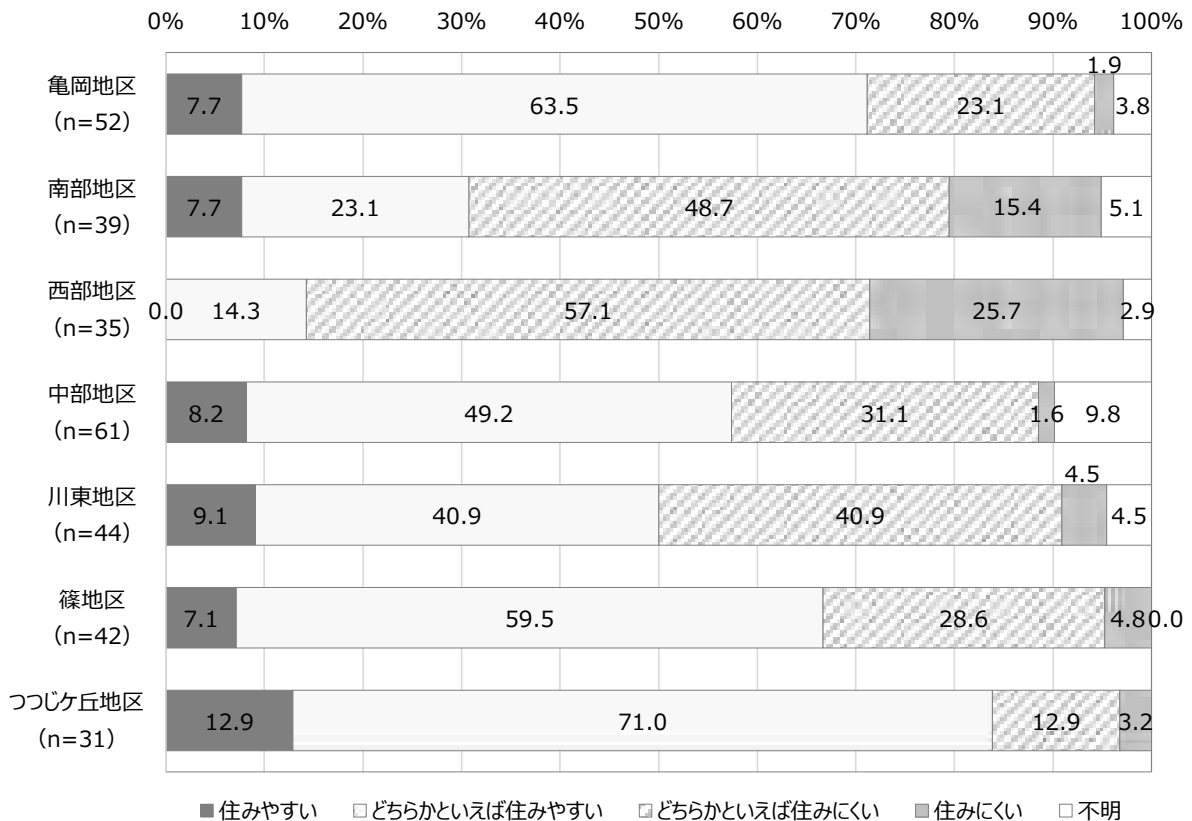
問9 あなたがお住まいの地域は、高齢者や障がいのある人、子どもにとって住みやすいまちだと思いますか。〈単数回答〉

高齢者や障がいのある人、子どもにとって住みやすいまちかをみると、『住みやすい（「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」の合計）』が53.9%、『住みにくい（「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」の合計）』が41.8%となっています。

前回と比較して『住みやすい』は9.1ポイント低くなっています。



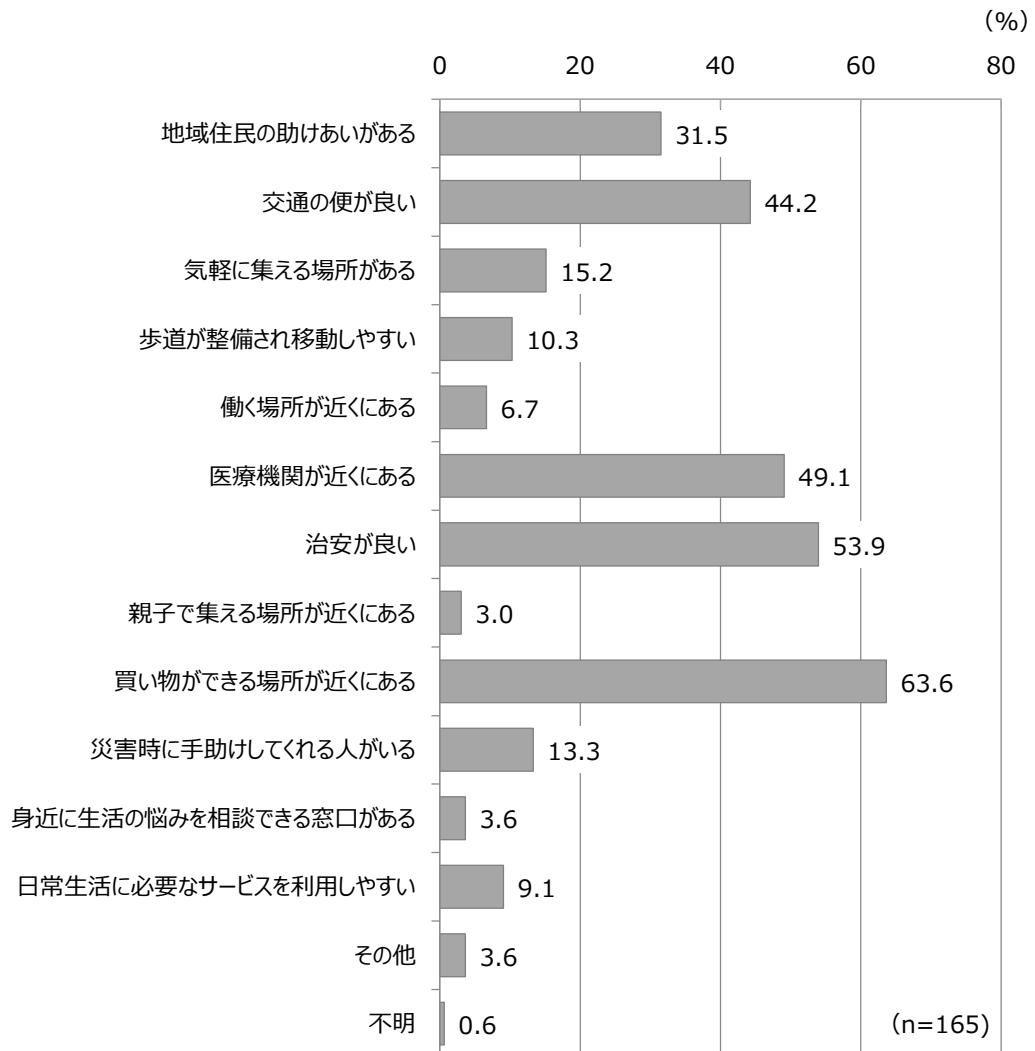
地区別をみると、亀岡地区、篠地区、つつじヶ丘地区では『住みやすい』が高くなっていますが、南部地区、西部地区では『住みにくい』が半数を超えています。



[問9で「1 住みやすい」「3 どちらかといえば住みやすい」と答えた方のみ]

問9-1 あなたが住みやすいと思う理由は何ですか。〈複数回答〉* 5つまで

住みやすいと思う理由をみると、「買い物ができる場所が近くにある」が63.6%と最も高く、次いで「治安が良い」が53.9%となっています。



地区別をみると、亀岡地区、中部地区、篠地区、つつじヶ丘地区では「買い物ができる場所が近くにある」が高くなっています。南部地区、川東地区では「地域住民の助けあいがある」、西部地区では「治安が良い」が高くなっています。

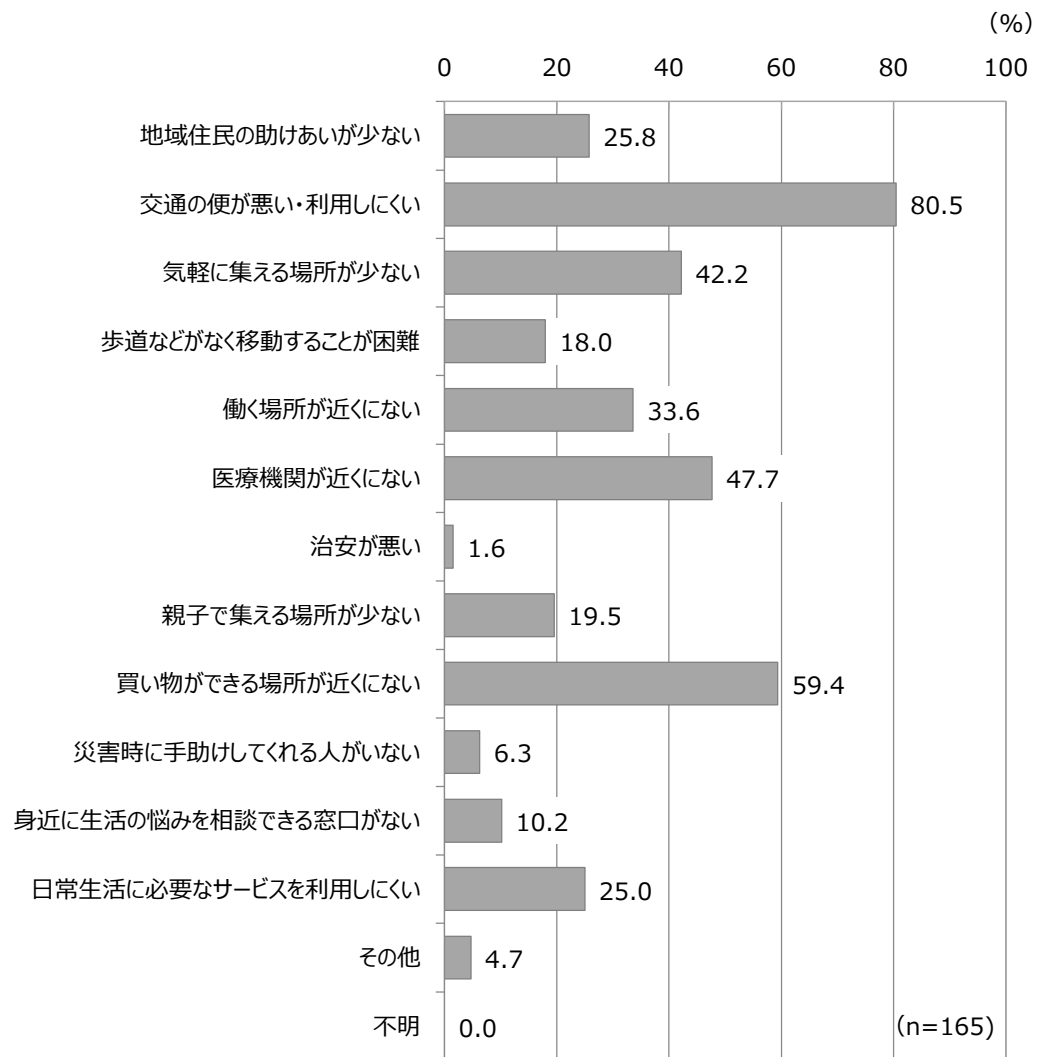
(%)	合計	地域住民の助けあいがある	交通の便が良い	気軽に集える場所がある	歩道が整備され移動しやすい	働く場所が近くにある	医療機関が近くにある	治安が良い
全体 (n=165)	100.0	31.5	44.2	15.2	10.3	6.7	49.1	53.9
亀岡地区 (n=37)	100.0	16.2	56.8	8.1	10.8	8.1	56.8	48.6
南部地区 (n=12)	100.0	83.3	8.3	25.0	0.0	0.0	8.3	75.0
西部地区 (n=5)	100.0	60.0	0.0	40.0	0.0	0.0	20.0	80.0
中部地区 (n=35)	100.0	22.9	62.9	8.6	5.7	11.4	54.3	48.6
川東地区 (n=22)	100.0	81.8	13.6	22.7	18.2	0.0	13.6	68.2
篠地区 (n=28)	100.0	10.7	60.7	7.1	10.7	7.1	75.0	46.4
つつじヶ丘地区 (n=26)	100.0	15.4	34.6	26.9	15.4	7.7	57.7	50.0

(%)	親子で集える場所が近くにある	買い物ができる場所が近くにある	災害時に手助けしてくれる人がいる	身近に生活の悩みを相談できる窓口がある	日常生活に必要なサービスを利用しやすい	その他	不明
全体 (n=165)	3.0	63.6	13.3	3.6	9.1	3.6	0.6
亀岡地区 (n=37)	2.7	89.2	10.8	2.7	16.2	2.7	0.0
南部地区 (n=12)	0.0	8.3	16.7	0.0	0.0	8.3	0.0
西部地区 (n=5)	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0
中部地区 (n=35)	5.7	68.6	2.9	2.9	8.6	2.9	0.0
川東地区 (n=22)	0.0	22.7	36.4	0.0	4.5	0.0	0.0
篠地区 (n=28)	3.6	78.6	7.1	0.0	14.3	10.7	3.6
つつじヶ丘地区 (n=26)	3.8	76.9	11.5	15.4	3.8	0.0	0.0

[問9で「2 どちらかといえば住みにくい」「4 住みにくい」と答えた方のみ]

問9-2 あなたが住みにくいと思う理由は何ですか。〈複数回答〉* 5つまで

住みにくいと思う理由をみると、「交通の便が悪い・利用しにくい」が80.5%と最も高く、次いで「買い物ができる場所が近くにない」が59.4%、「医療機関が近くにない」が47.7%となっています。



地区別をみると、亀岡地区は「地域住民の助けあいが少ない」、南部地区、西部地区、中部地区、川東地区、つつじヶ丘地区は「交通の便が悪い・利用しにくい」、篠地区は「気軽に集える場所が少ない」が高くなっています。

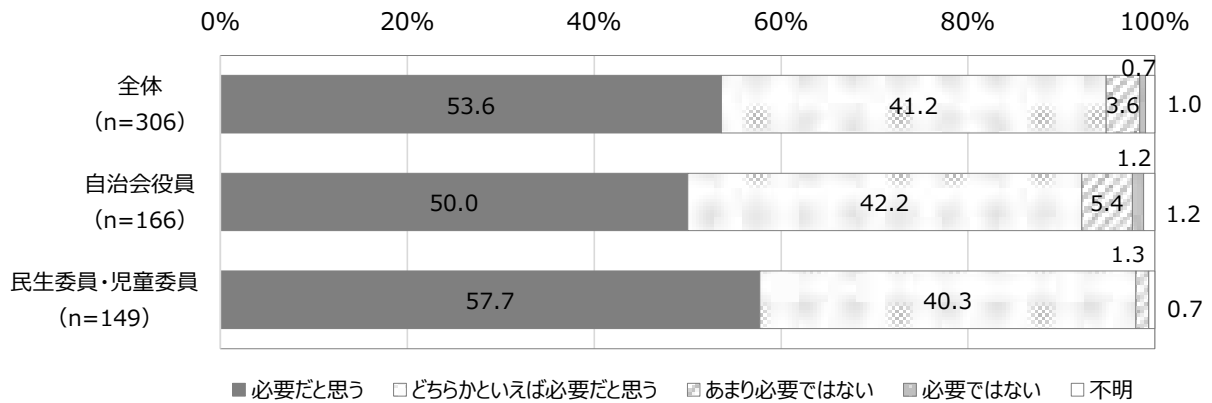
(%)	合計	地域住民の助けあいが少ない	交通の便が悪い・利用しにくい	気軽に集える場所が少ない	歩道などがなく移動することが困難	働く場所が近くにない	医療機関が近くにない	治安が悪い
全体 (n=128)	100.0	25.8	80.5	42.2	18.0	33.6	47.7	1.6
亀岡地区 (n=13)	100.0	61.5	46.2	46.2	30.8	7.7	7.7	0.0
南部地区 (n=25)	100.0	12.0	96.0	40.0	24.0	44.0	72.0	4.0
西部地区 (n=29)	100.0	20.7	89.7	44.8	3.4	51.7	79.3	0.0
中部地区 (n=20)	100.0	25.0	85.0	35.0	30.0	25.0	35.0	5.0
川東地区 (n=20)	100.0	20.0	90.0	40.0	15.0	55.0	45.0	0.0
篠地区 (n=14)	100.0	35.7	42.9	50.0	7.1	0.0	14.3	0.0
つつじヶ丘地区 (n=5)	100.0	40.0	100.0	40.0	20.0	0.0	20.0	0.0

(%)	親子で集える場所が少ない	買い物ができる場所が近くにない	災害時に手助けしてくれる人がいない	身近に生活の悩みを相談できる窓口がない	日常生活に必要なサービスを利用しにくい	その他	不明
全体 (n=128)	19.5	59.4	6.3	10.2	25.0	4.7	0.0
亀岡地区 (n=13)	15.4	15.4	7.7	23.1	7.7	0.0	0.0
南部地区 (n=25)	8.0	88.0	4.0	4.0	44.0	0.0	0.0
西部地区 (n=29)	27.6	75.9	3.4	0.0	20.7	0.0	0.0
中部地区 (n=20)	5.0	60.0	15.0	15.0	20.0	5.0	0.0
川東地区 (n=20)	30.0	55.0	5.0	20.0	35.0	5.0	0.0
篠地区 (n=14)	42.9	21.4	0.0	14.3	14.3	14.3	0.0
つつじヶ丘地区 (n=5)	0.0	40.0	20.0	0.0	20.0	40.0	0.0

問10 地域で安心して暮らし続けるために、日ごろの生活の中で生じる困りごとなどを解消する取り組みが必要だと思いますか。〈単数回答〉

困りごとなどを解消する取り組みが必要かをみると、『必要だと思う（「必要だと思う」「どちらかといえば必要だと思う」の合計）』が94.8%、『必要ではない（「あまり必要ではない」「必要ではない」の合計）』が4.3%となっています。

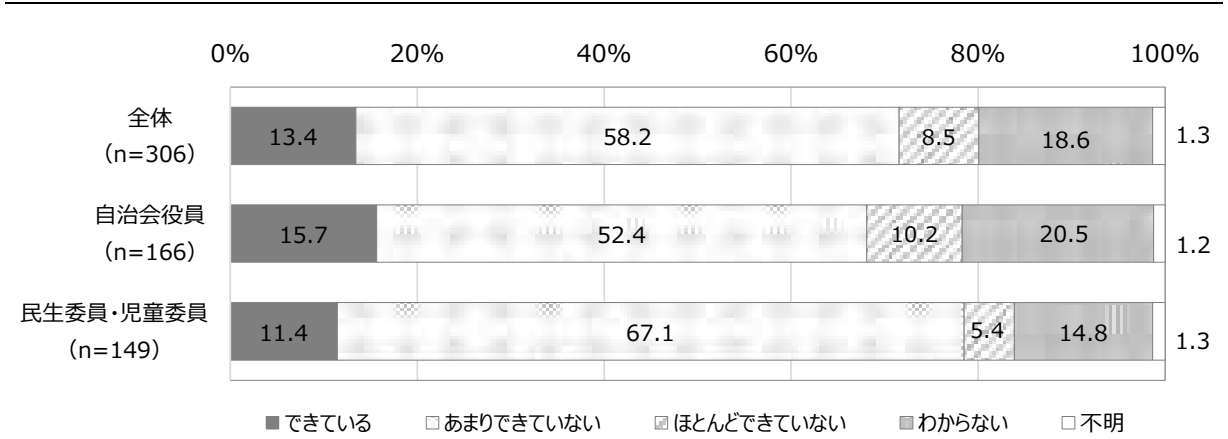
役割別をみると、どちらの役割でも、『必要だと思う』が高くなっています。



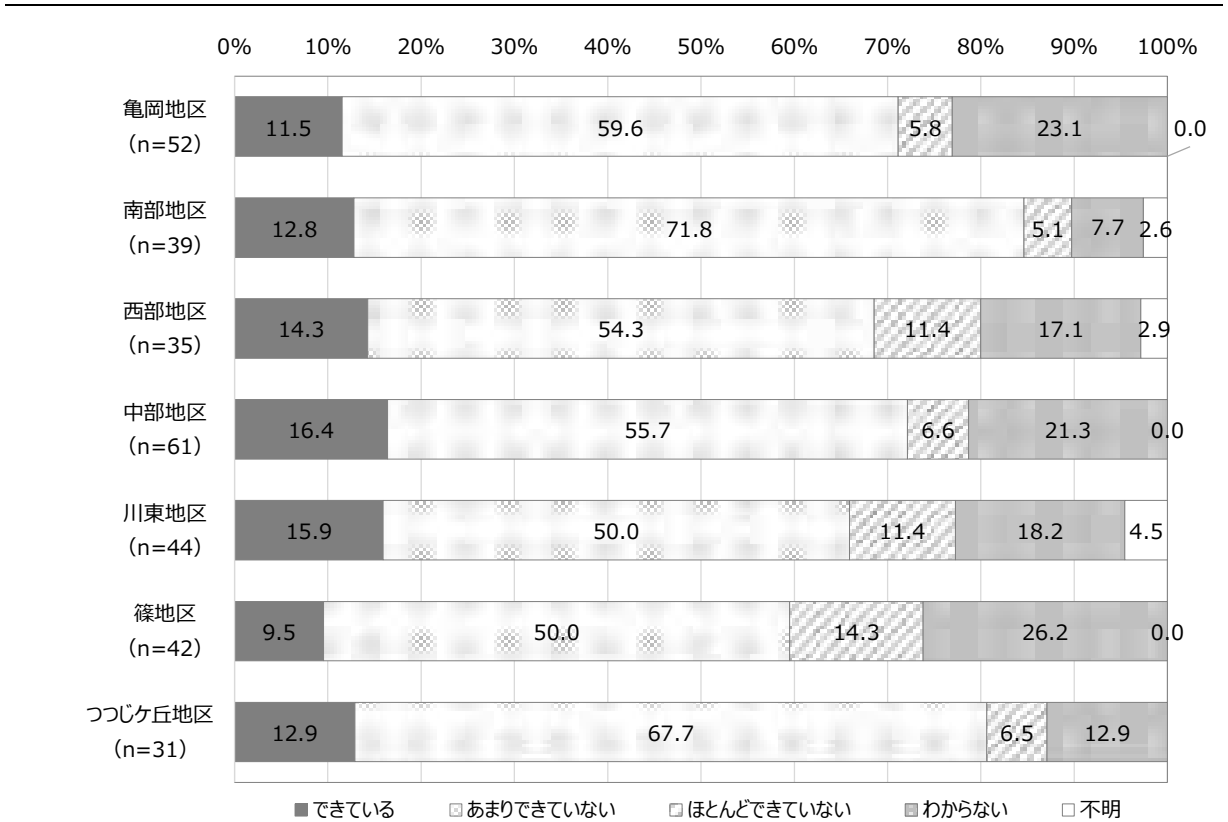
問11 亀岡市の福祉に関する相談窓口や福祉サービスなどの情報は住民に周知できていると思いますか。〈単数回答〉

亀岡市の福祉に関する情報が住民に周知できているかをみると、「できている」は13.4%、『できていない（「あまりできていない」「ほとんどできていない」の合計）』が66.7%となっています。

役割別をみると、『できていない』は自治会役員で62.6%、民生委員・児童委員で72.5%となっています。



地区別をみると、『できていない』は南部地区で最も高く、76.9%、次いでつつじヶ丘地区で74.2%となっています。



問12 亀岡市の福祉行政に対して、住民からどのような要望等を聞かれますか。具体的に記入してください。〈記述回答〉

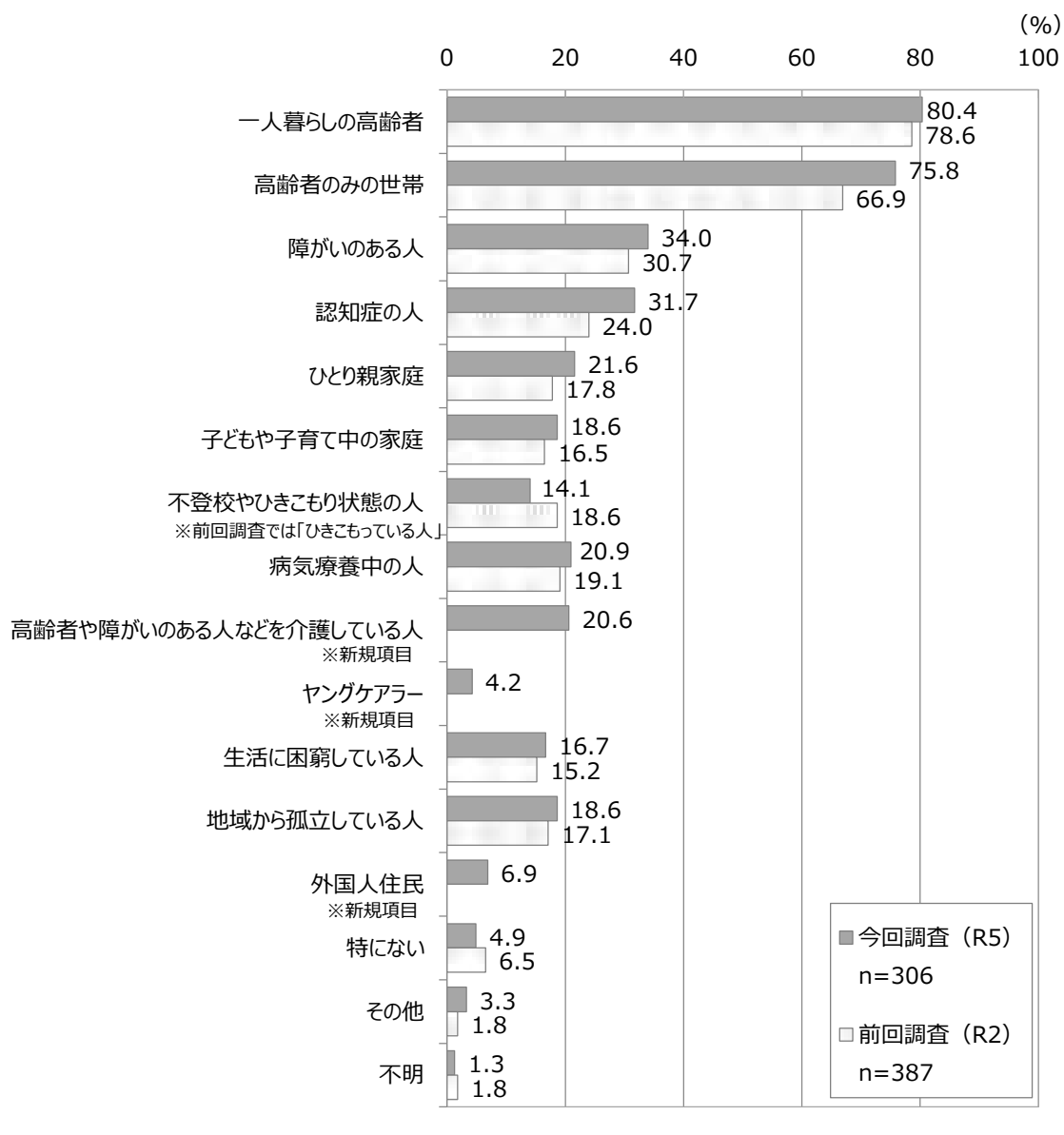
亀岡市の福祉行政に対して住民から聞かれる要望については、主に高齢者の移動支援に関する要望、福祉サービスをはじめとする情報提供に関する要望、相談窓口に関する要望などの意見が多くなっています。

4. 活動について

問13 現在、お住まいの地域の中で、次のような見守りや支援が必要な人や気がかりな人がいますか。〈複数回答〉*いくつでも

見守りや支援が必要な人や気がかりな人がいるかをみると、「一人暮らし高齢者」が80.4%と最も高く、次いで「高齢者のみの世帯」が75.8%、「障がいのある人」が34.0%となっています。

前回調査と比較すると、「高齢者のみの世帯」が8.9ポイント、「認知症の人」が7.7ポイントト高くなっています。



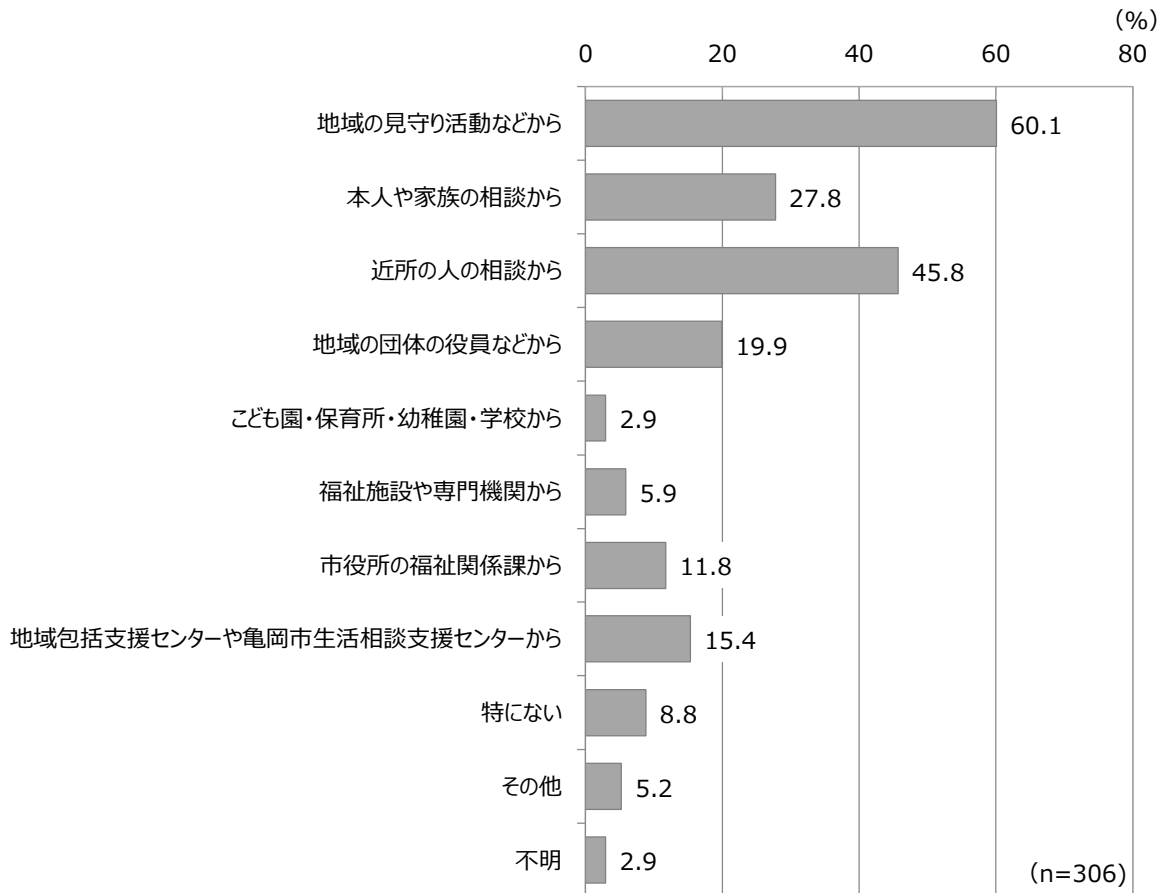
地区別をみると、亀岡地区、つつじヶ丘地区で「高齢者のみの世帯」、西部地区、川東地区、篠地区で「一人暮らし高齢者」、南部地区と中部地区ではそのどちらもが高くなっています。

(%)	合計	一人暮らしの高齢者	高齢者のみの世帯	障がいのある人	認知症の人	ひとり親家庭	子どもや子育て中の家庭	不登校やひきこもり状態の人	病気療養中の人
全体 (n=306)	100.0	80.4	75.8	34.0	31.7	21.6	18.6	14.1	20.9
亀岡地区 (n=52)	100.0	67.3	71.2	36.5	26.9	19.2	15.4	9.6	30.8
南部地区 (n=39)	100.0	82.1	82.1	41.0	23.1	15.4	17.9	17.9	25.6
西部地区 (n=35)	100.0	91.4	77.1	31.4	28.6	20.0	14.3	17.1	17.1
中部地区 (n=61)	100.0	77.0	77.0	34.4	32.8	23.0	21.3	14.8	23.0
川東地区 (n=44)	100.0	84.1	77.3	27.3	45.5	18.2	20.5	11.4	18.2
篠地区 (n=42)	100.0	83.3	61.9	26.2	19.0	23.8	14.3	16.7	16.7
つつじヶ丘地区 (n=31)	100.0	83.9	87.1	41.9	51.6	32.3	29.0	12.9	9.7

(%)	高齢者や障がいのある人などを介護している人	ヤングケアラー	生活に困窮している人	地域から孤立している人	外国人住民	特にない	その他	不明
全体 (n=306)	20.6	4.2	16.7	18.6	6.9	4.9	3.3	1.3
亀岡地区 (n=52)	23.1	7.7	13.5	17.3	9.6	9.6	0.0	1.9
南部地区 (n=39)	17.9	5.1	15.4	17.9	12.8	5.1	5.1	0.0
西部地区 (n=35)	22.9	0.0	25.7	31.4	8.6	2.9	0.0	2.9
中部地区 (n=61)	18.0	6.6	16.4	18.0	3.3	3.3	4.9	1.6
川東地区 (n=44)	20.5	2.3	20.5	13.6	2.3	4.5	2.3	2.3
篠地区 (n=42)	11.9	2.4	9.5	19.0	9.5	7.1	4.8	0.0
つつじヶ丘地区 (n=31)	35.5	3.2	16.1	12.9	3.2	0.0	6.5	0.0

問14 問13のような困りごとを抱えている住民をどのような機会に発見することが多いですか。〈複数回答〉*いくつかでも

困りごとを抱えている住民をどのような機会に発見することが多いかをみると、「地域の見守り活動などから」が60.1%と最も高く、次いで「近所の人との相談から」が45.8%、「本人や家族の相談から」が27.8%となっています。



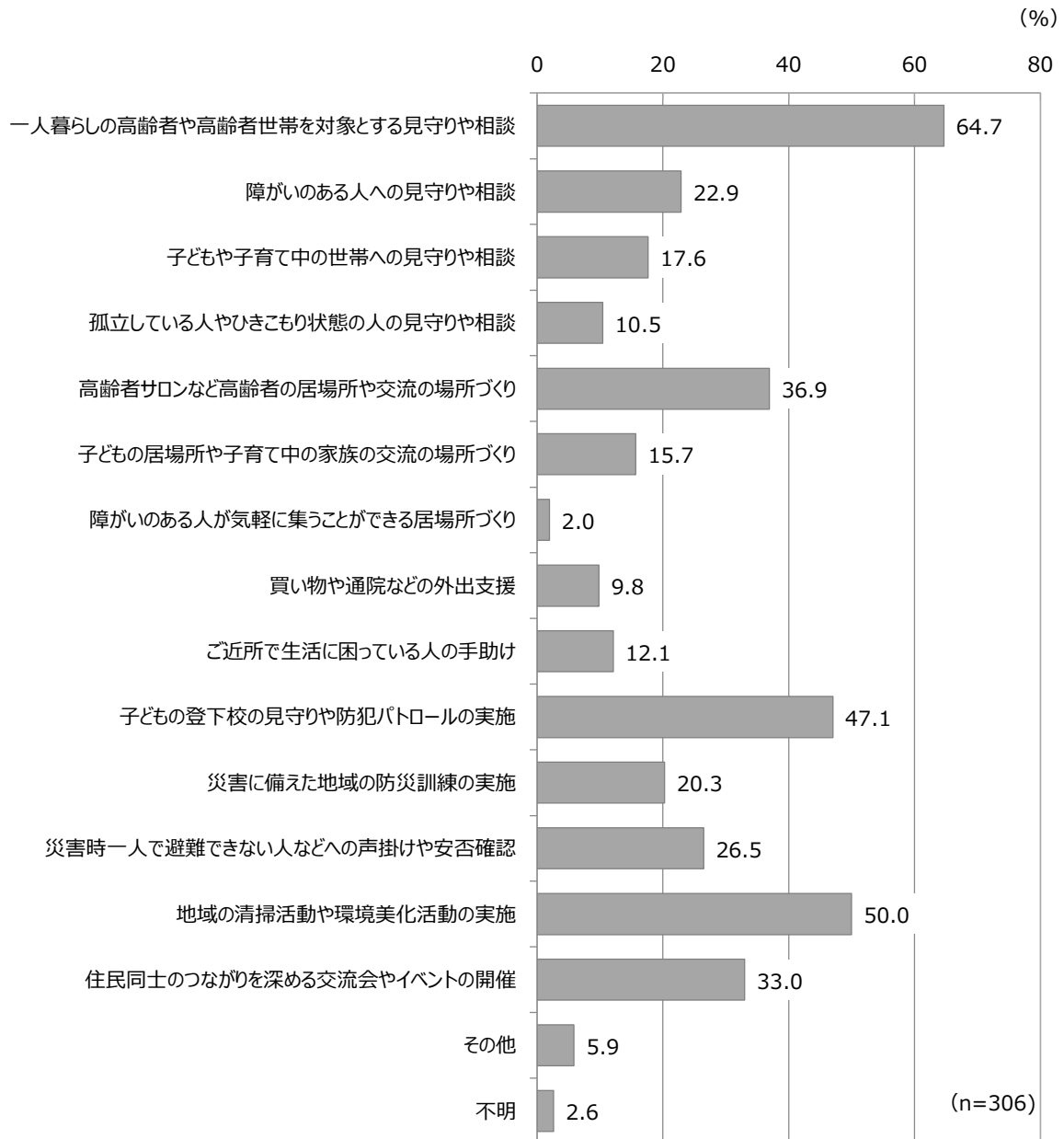
役割別をみると、自治会役員では「近所の人との相談から」、民生委員・児童委員では「地域の見守り活動などから」が高くなっています。

(%)	合計	地域の見守り活動などから	本人や家族の相談から	近所の人との相談から	地域の団体の役員などから	こども園・保育所・幼稚園・学校から	福祉施設や専門機関から	市役所の福祉関係課から	地域包括支援センターや亀岡市生活相談支援センターから	特になし	その他	不明
全体 (n=306)	100.0	60.1	27.8	45.8	19.9	2.9	5.9	11.8	15.4	8.8	5.2	2.9
自治会役員 (n=166)	100.0	43.4	23.5	45.8	24.1	0.6	4.2	4.2	6.0	15.7	7.2	3.6
民生委員・児童委員 (n=149)	100.0	82.6	34.2	48.3	13.4	4.7	8.1	20.1	25.5	0.7	2.7	2.0

問15 あなたは、お住まいの地域でどのような支えあいや助けあいの活動をしていますか。

〈複数回答〉*いくつでも

地域でのを行っている支えあいや助けあいの活動をみると、「一人暮らしの高齢者や高齢者世帯を対象とする見守りや相談」が64.7%と最も高く、次いで「地域の清掃活動や環境美化活動の実施」が50.0%、「子どもの登下校の見守りや防犯パトロールの実施」が47.1%となっています。



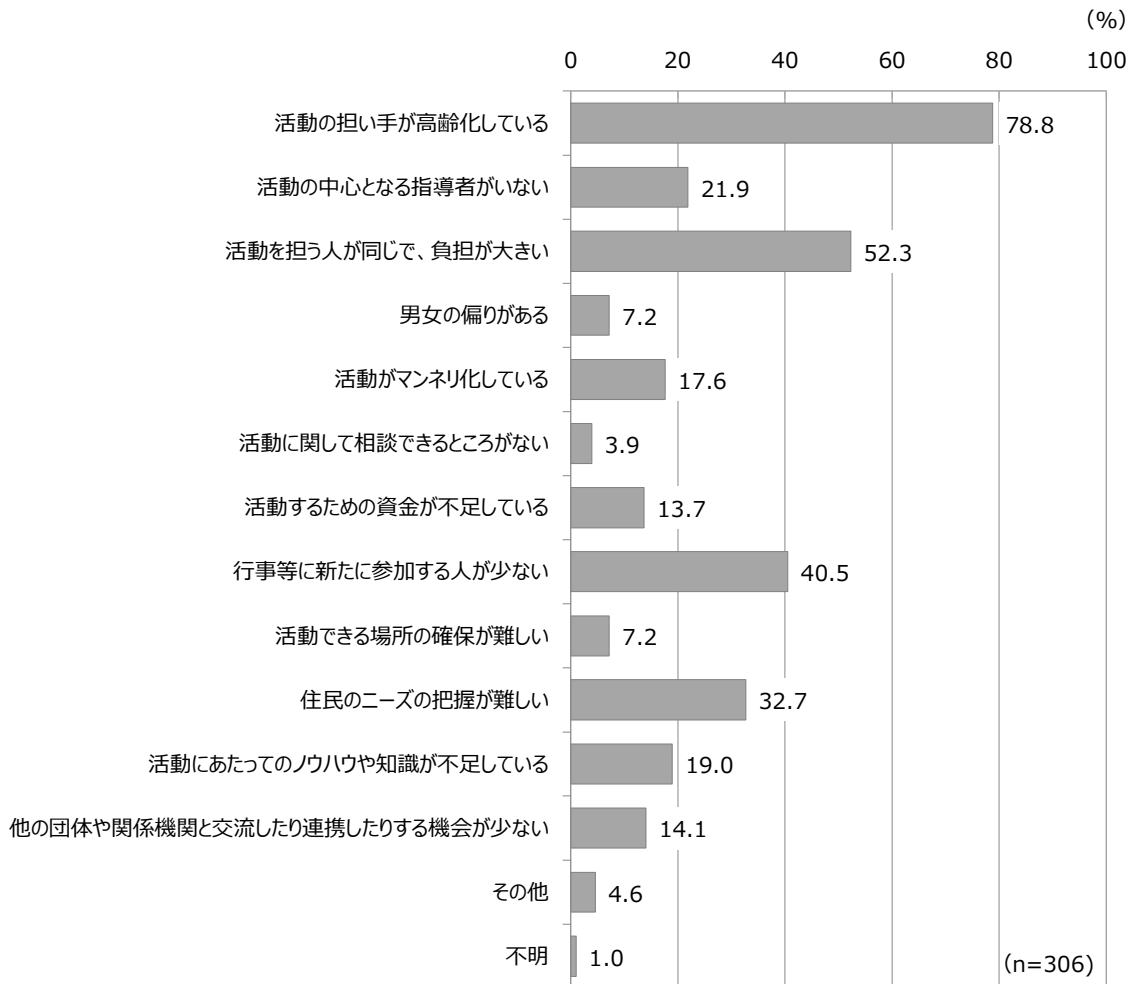
地区別をみると、亀岡地区では「子どもの登下校の見守りや防犯パトロールの実施」、中部地区では「子どもの登下校の見守りや防犯パトロールの実施」「地域の清掃活動や環境美化活動の実施」、南部地区、西部地区、川東地区、篠地区、つつじヶ丘地区では「一人暮らしの高齢者や高齢者世帯を対象とする見守りや相談」が高くなっています。

(%)	合計	一人暮らしの高齢者や高齢者世帯を対象とする見守りや相談	障がいのある人への見守りや相談	子どもや子育て中の世帯への見守りや相談	孤立している人やひきこもり状態の人の見守りや相談	高齢者サロンなど高齢者の居場所や交流の場所づくり	子どもの居場所や子育て中の家族の交流の場所づくり	障がいのある人が気軽に集うことができる居場所づくり	買い物や通院などの外出支援
全体 (n=306)	100.0	64.7	22.9	17.6	10.5	36.9	15.7	2.0	9.8
亀岡地区 (n=52)	100.0	50.0	11.5	15.4	5.8	46.2	3.8	3.8	3.8
南部地区 (n=39)	100.0	66.7	30.8	15.4	17.9	46.2	12.8	5.1	20.5
西部地区 (n=35)	100.0	68.6	25.7	20.0	17.1	37.1	5.7	0.0	22.9
中部地区 (n=61)	100.0	50.8	31.1	18.0	11.5	31.1	26.2	0.0	1.6
川東地区 (n=44)	100.0	70.5	15.9	13.6	11.4	36.4	20.5	2.3	13.6
篠地区 (n=42)	100.0	88.1	19.0	16.7	2.4	16.7	11.9	2.4	4.8
つつじヶ丘地区 (n=31)	100.0	67.7	25.8	22.6	9.7	48.4	25.8	0.0	6.5

(%)	ご近所で生活に困っている人の手助け	子どもの登下校の見守りや防犯パトロールの実施	災害に備えた地域の防災訓練の実施	災害時一人で避難できない人などへの声掛けや安否確認	地域の清掃活動や環境美化活動の実施	住民同士のつながりを深める交流会やイベントの開催	その他	不明
全体 (n=306)	12.1	47.1	20.3	26.5	50.0	33.0	5.9	2.6
亀岡地区 (n=52)	9.6	63.5	11.5	9.6	40.4	34.6	5.8	3.8
南部地区 (n=39)	7.7	43.6	20.5	30.8	61.5	48.7	7.7	0.0
西部地区 (n=35)	17.1	42.9	28.6	22.9	42.9	28.6	8.6	5.7
中部地区 (n=61)	14.8	68.9	21.3	32.8	68.9	32.8	4.9	1.6
川東地区 (n=44)	4.5	47.7	29.5	36.4	50.0	25.0	2.3	2.3
篠地区 (n=42)	16.7	16.7	7.1	21.4	31.0	23.8	4.8	2.4
つつじヶ丘地区 (n=31)	16.1	22.6	29.0	29.0	48.4	38.7	9.7	3.2

問16 地域の支えあいや助けあいの活動をする上での課題はありますか。〈複数回答〉* 5つまで

支えあいや助けあいの活動をする上での課題をみると、「活動の担い手が高齢化している」が78.8%と最も高く、次いで「活動を担う人が同じで、負担が大きい」が52.3%、「行事等に新たに参加する人が少ない」が40.5%となっています。



地区別をみると、すべての地区で「活動の担い手が高齢化している」が高くなっています。

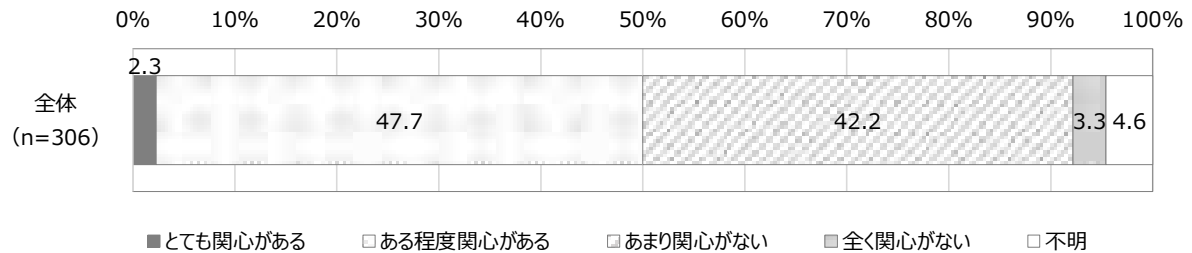
(%)	合計	活動の担い手が高齢化している	活動の中心となる指導者がいない	活動を担う人が同じで、負担が大きい	男女の偏りがある	活動がマンネリ化している	活動に関して相談できるところがない	活動するための資金が不足している	行事等に新たに参加する人が少ない
全体 (n=306)	100.0	78.8	21.9	52.3	7.2	17.6	3.9	13.7	40.5
亀岡地区 (n=52)	100.0	82.7	30.8	50.0	3.8	17.3	5.8	13.5	44.2
南部地区 (n=39)	100.0	92.3	23.1	66.7	7.7	12.8	2.6	17.9	41.0
西部地区 (n=35)	100.0	82.9	25.7	42.9	11.4	11.4	0.0	17.1	51.4
中部地区 (n=61)	100.0	73.8	19.7	49.2	6.6	18.0	3.3	18.0	37.7
川東地区 (n=44)	100.0	72.7	13.6	50.0	13.6	22.7	4.5	15.9	38.6
篠地区 (n=42)	100.0	69.0	28.6	50.0	2.4	16.7	7.1	4.8	35.7
つつじヶ丘地区 (n=31)	100.0	80.6	9.7	64.5	6.5	25.8	0.0	6.5	38.7

(%)	活動できる場所の確保が難しい	住民のニーズの把握が難しい	活動にあたってのノウハウや知識が不足している	他の団体や関係機関と交流したり連携したりする機会が少ない	その他	不明
全体 (n=306)	7.2	32.7	19.0	14.1	4.6	1.0
亀岡地区 (n=52)	5.8	34.6	23.1	9.6	0.0	0.0
南部地区 (n=39)	7.7	25.6	15.4	15.4	2.6	0.0
西部地区 (n=35)	17.1	25.7	8.6	20.0	5.7	2.9
中部地区 (n=61)	4.9	31.1	23.0	11.5	8.2	1.6
川東地区 (n=44)	9.1	36.4	20.5	18.2	4.5	2.3
篠地区 (n=42)	2.4	40.5	14.3	9.5	9.5	0.0
つつじヶ丘地区 (n=31)	6.5	32.3	22.6	16.1	0.0	0.0

問17 地域の住民は、地域での支えあいや助けあいの活動に関心があると思いますか。

〈単数回答〉

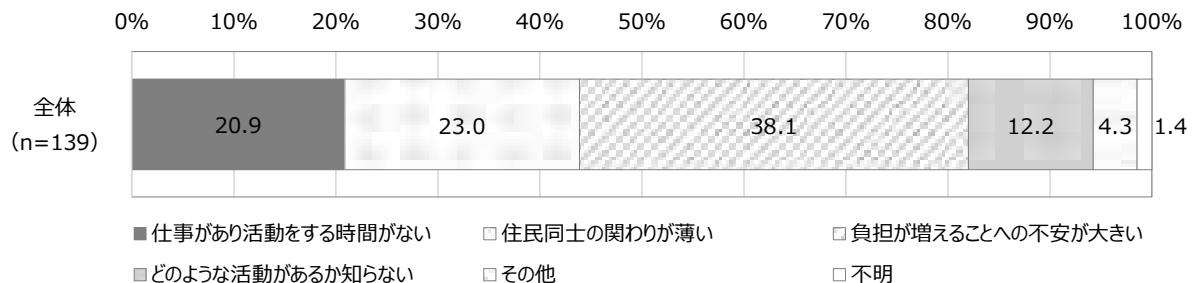
支えあいや助けあいの活動に関心があるかをみると、『関心がある（「とても関心がある」「ある程度関心がある」の合計）』が50.0%、『関心がない（「あまり関心がない」「全く関心がない」の合計）』が45.5%となっています。



〔問17で「3 あまり関心がない」「4 全く関心がない」と答えた方のみ〕

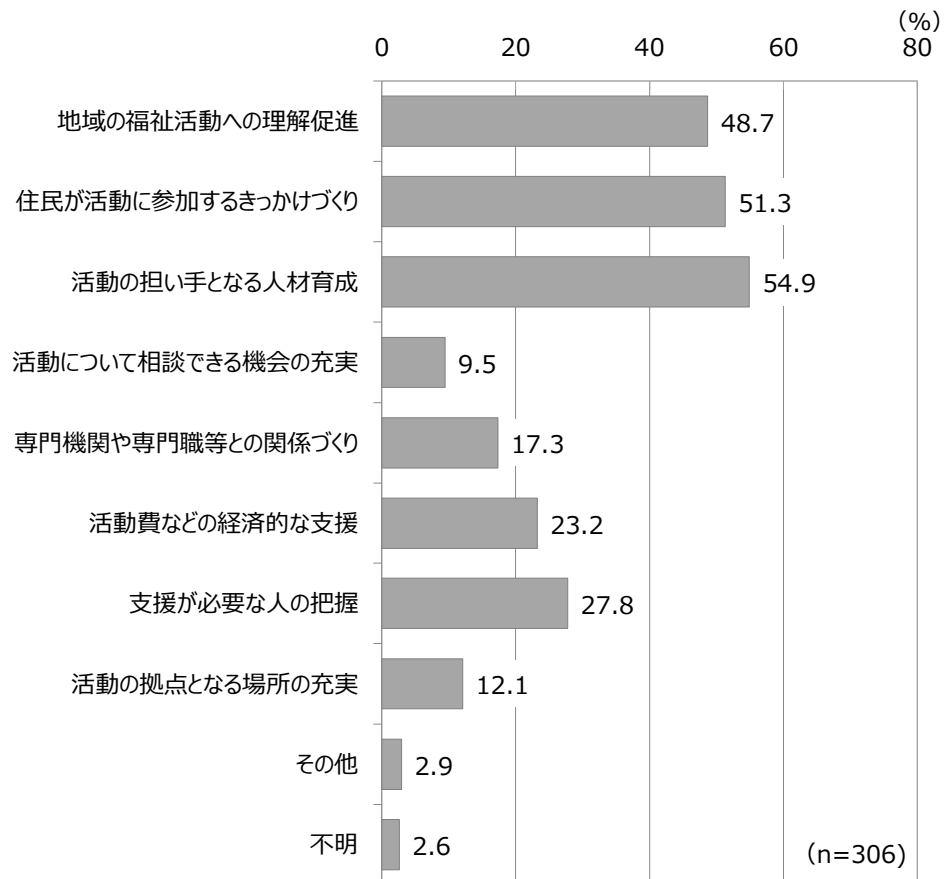
問17-1 「関心がない」と思う理由は何ですか。〈単数回答〉

関心がない理由をみると、「負担が増えることへの不安が大きい」が38.1%と最も高く、次いで「住民同士の関わりが薄い」が23.0%、「仕事があり活動する時間がない」が20.9%となっています。



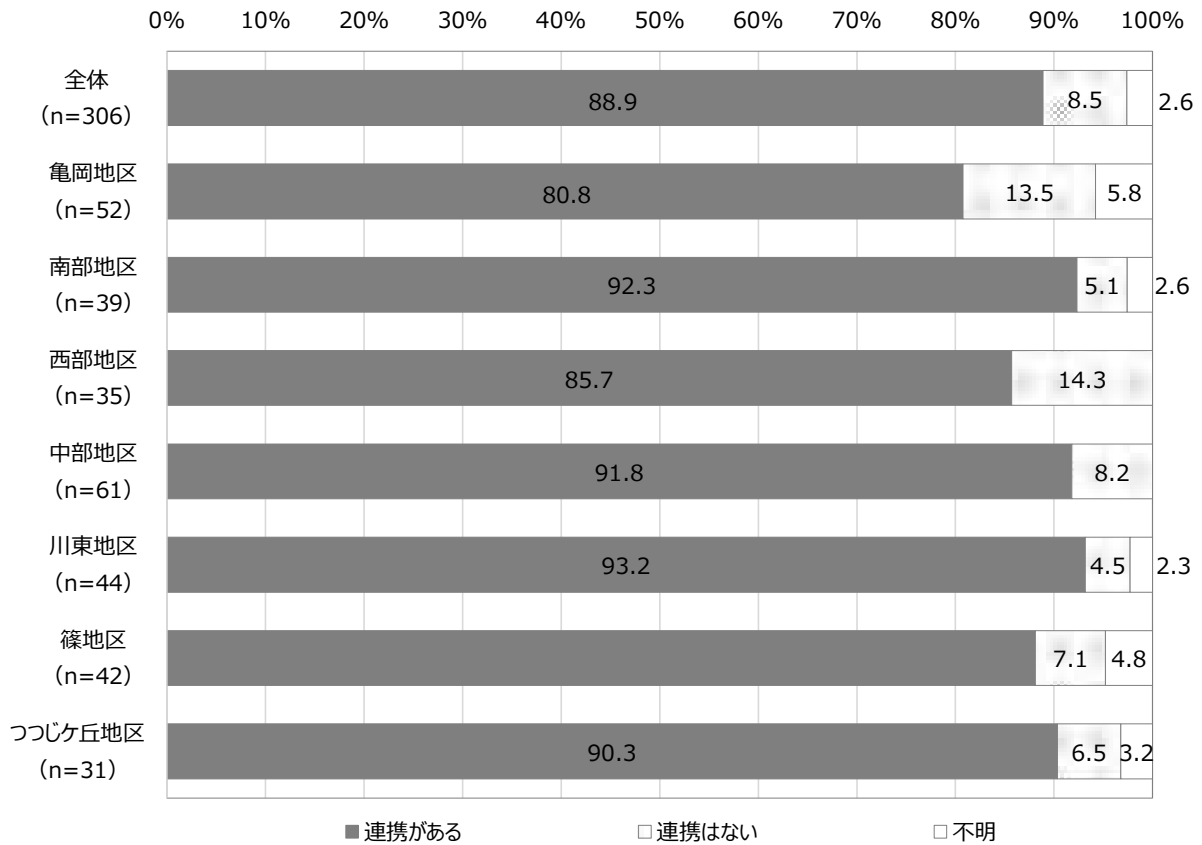
問18 地域の支えあいや助けあいの活動を推進するために必要なことは何があると思いますか。〈複数回答〉* 3つまで

支えあいや助けあいの活動を推進するために必要なことをみると、「活動の担い手となる人材育成」が54.9%と最も高く、次いで「住民が活動に参加するきっかけづくり」が51.3%、「地域の福祉活動への理解促進」が48.7%となっています。



問19 地域活動の中で、他の組織・団体との連携はありますか。〈単数回答〉

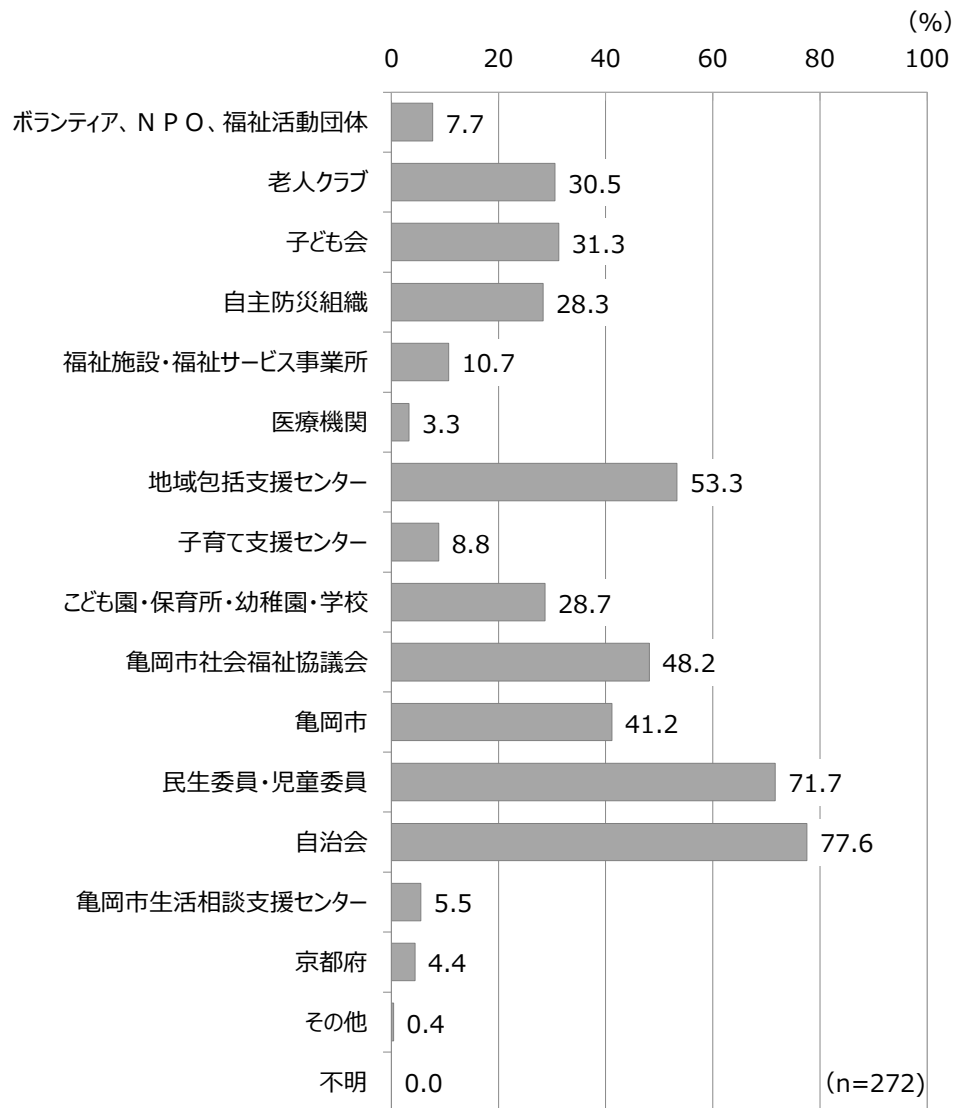
組織・団体との連携をみると、「連携がある」が88.9%、「連携はない」が8.5%となっています。地区別をみると、すべての地区で「連携がある」が高くなっています。



〔問19で「1 連携がある」と答えた方のみ〕

問19-1 連携がある組織・団体は次のうちどれですか。〈複数回答〉*いくつでも

連携がある組織・団体をみると、「自治会」が77.6%と最も高く、次いで「民生委員・児童委員」が71.7%、「地域包括支援センター」が53.3%となっています。



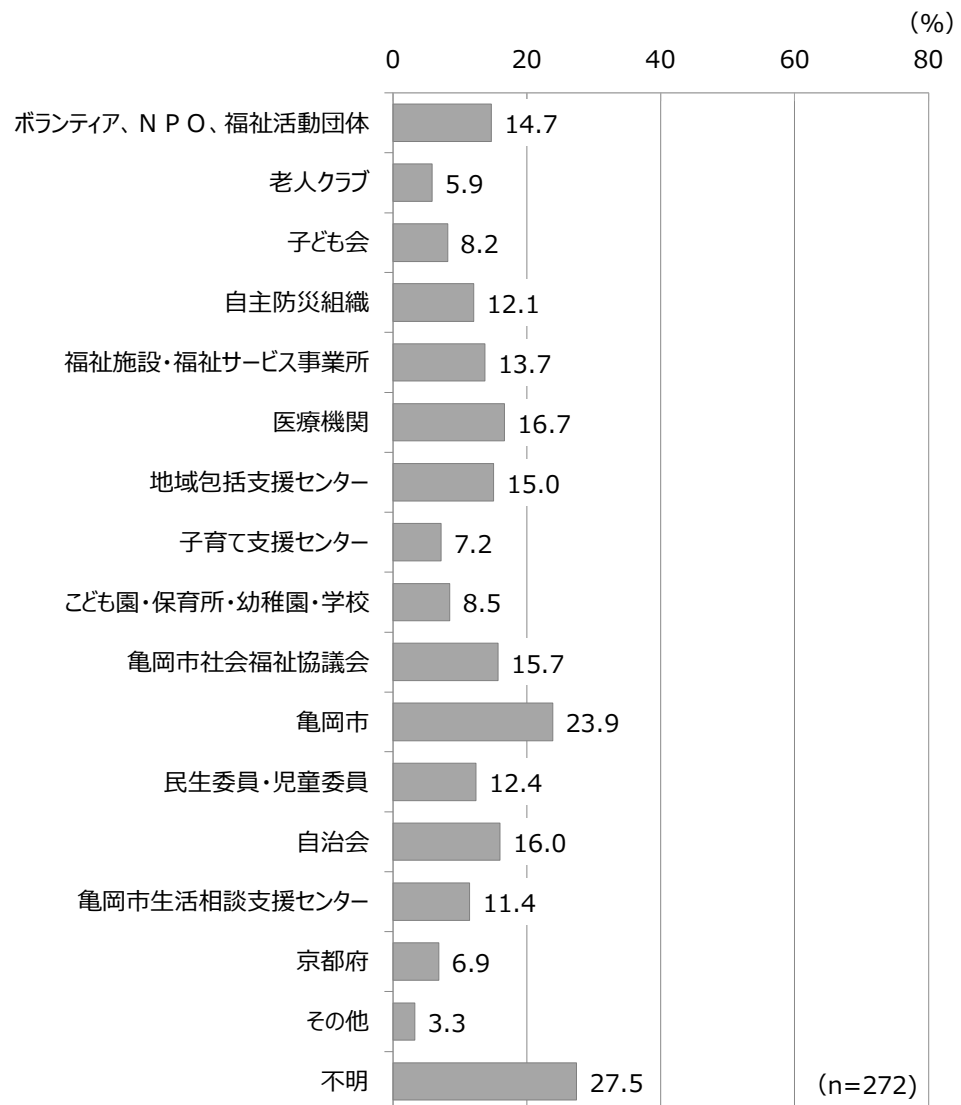
地区別をみると、「自治会」「民生委員・児童委員」を除いては、亀岡地区では「亀岡市社会福祉協議会」、南部地区、西部地区、川東地区、篠地区、つつじヶ丘地区では「地域包括支援センター」、中部地区では「地域包括支援センター」「亀岡市」が高くなっています。

(%)	合計	ボランティア、NPO、福祉活動団体	老人クラブ	子ども会	自主防災組織	福祉施設・福祉サービス事業所	医療機関	地域包括支援センター	子育て支援センター	こども園・保育所・幼稚園・学校
全体 (n=272)	100.0	7.7	30.5	31.3	28.3	10.7	3.3	53.3	8.8	28.7
亀岡地区 (n=42)	100.0	9.5	28.6	35.7	11.9	11.9	2.4	50.0	0.0	7.1
南部地区 (n=36)	100.0	11.1	41.7	30.6	16.7	8.3	2.8	47.2	11.1	41.7
西部地区 (n=30)	100.0	13.3	63.3	40.0	33.3	13.3	6.7	66.7	13.3	43.3
中部地区 (n=56)	100.0	5.4	16.1	26.8	37.5	5.4	1.8	50.0	10.7	39.3
川東地区 (n=41)	100.0	7.3	26.8	39.0	34.1	17.1	4.9	46.3	7.3	36.6
篠地区 (n=37)	100.0	0.0	10.8	16.2	10.8	8.1	0.0	54.1	5.4	10.8
つつじヶ丘地区 (n=28)	100.0	10.7	42.9	32.1	57.1	10.7	7.1	64.3	14.3	14.3

(%)	亀岡市社会福祉協議会	亀岡市	民生委員・児童委員	自治会	亀岡市生活相談支援センター	京都府	その他	不明
全体 (n=272)	48.2	41.2	71.7	77.6	5.5	4.4	0.4	0.0
亀岡地区 (n=42)	52.4	33.3	61.9	69.0	2.4	7.1	0.0	0.0
南部地区 (n=36)	41.7	38.9	77.8	80.6	5.6	11.1	0.0	0.0
西部地区 (n=30)	43.3	36.7	86.7	56.7	3.3	0.0	0.0	0.0
中部地区 (n=56)	46.4	50.0	62.5	75.0	1.8	1.8	0.0	0.0
川東地区 (n=41)	43.9	41.5	63.4	82.9	9.8	4.9	2.4	0.0
篠地区 (n=37)	48.6	40.5	83.8	89.2	5.4	0.0	0.0	0.0
つつじヶ丘地区 (n=28)	60.7	42.9	78.6	89.3	7.1	3.6	0.0	0.0

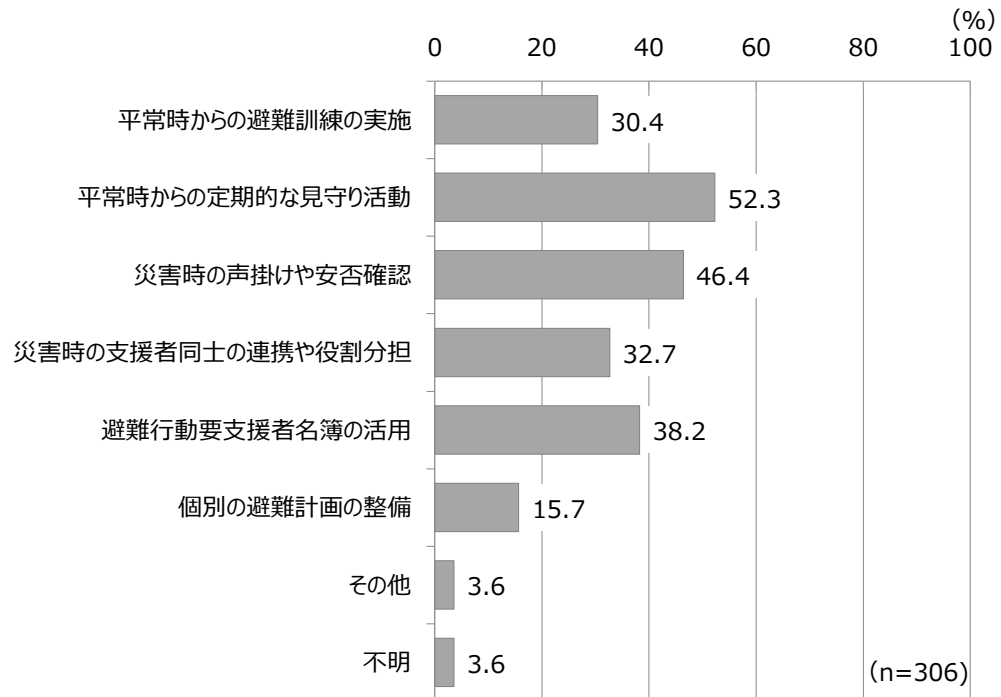
問20 地域活動の中で、今後連携したい他の組織・団体はありますか。〈単数回答〉* 5つまで

今後連携したい組織・団体をみると、「亀岡市」が23.9%と最も高く、次いで「医療機関」が16.7%、「自治会」が16.0%となっています。



問21 災害時の要支援者に対する支援として、あなたがお住まいの地域ではどのような取組が必要と考えますか。〈複数回答〉* 3つまで

災害時の要支援者に対する支援として必要な取組をみると、「平常時からの定期的な見守り活動」が52.3%と最も高く、次いで「災害時の声掛けや安否確認」が46.4%、「避難行動要支援者名簿の活用」が38.2%となっています。

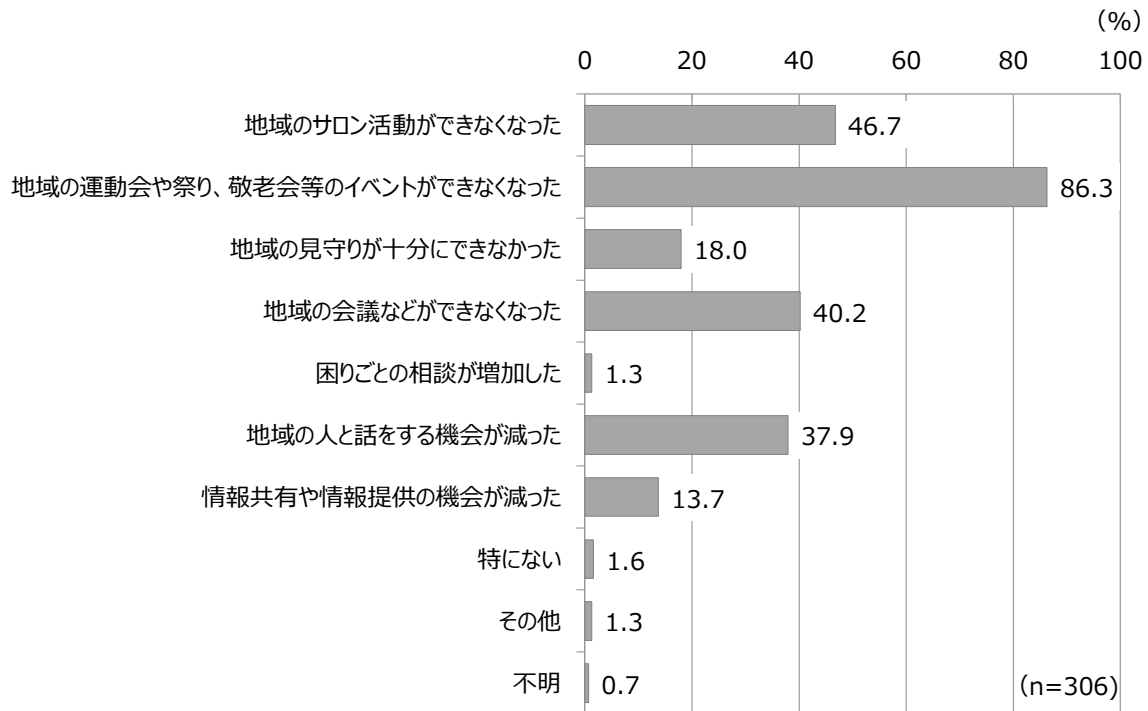


地区別をみると、亀岡地区、川東地区、篠地区、つつじヶ丘地区では「平常時からの定期的な見守り活動」、南部地区では「災害時の声掛けや安否確認」、西部地区では「平常時からの定期的な見守り活動」「災害時の支援者同士の連携や役割分担」、中部地区は「平常時からの定期的な見守り活動」「災害時の声掛けや安否確認」が高くなっています。

(%)	合計	平常時からの避難訓練の実施	平常時からの定期的な見守り活動	災害時の声掛けや安否確認	災害時の支援者同士の連携や役割分担	避難行動要支援者名簿の活用	個別の避難計画の整備	その他	不明
全体 (n=306)	100.0	30.4	52.3	46.4	32.7	38.2	15.7	3.6	3.6
亀岡地区 (n=52)	100.0	40.4	48.1	42.3	34.6	28.8	9.6	3.8	5.8
南部地区 (n=39)	100.0	41.0	43.6	48.7	28.2	30.8	17.9	5.1	2.6
西部地区 (n=35)	100.0	28.6	48.6	37.1	48.6	45.7	11.4	5.7	0.0
中部地区 (n=61)	100.0	26.2	52.5	52.5	31.1	34.4	29.5	4.9	3.3
川東地区 (n=44)	100.0	36.4	52.3	47.7	40.9	38.6	9.1	2.3	4.5
篠地区 (n=42)	100.0	11.9	61.9	54.8	21.4	47.6	11.9	2.4	2.4
つつじヶ丘地区 (n=31)	100.0	29.0	61.3	35.5	25.8	45.2	16.1	0.0	6.5

問22 新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、地域の活動にどのような影響がありましたか。〈複数回答〉* 3つまで

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による地域の活動への影響をみると、「地域の運動会や祭り、敬老会等のイベントができなくなった」が86.3と最も高く、次いで「地域のサロン活動ができなくなった」が46.7%、「地域の会議などができなくなった」が40.2%となっています。



役割別をみると、すべての役割で「地域の運動会や祭り、敬老会等のイベントができなくなった」が高くなっています。

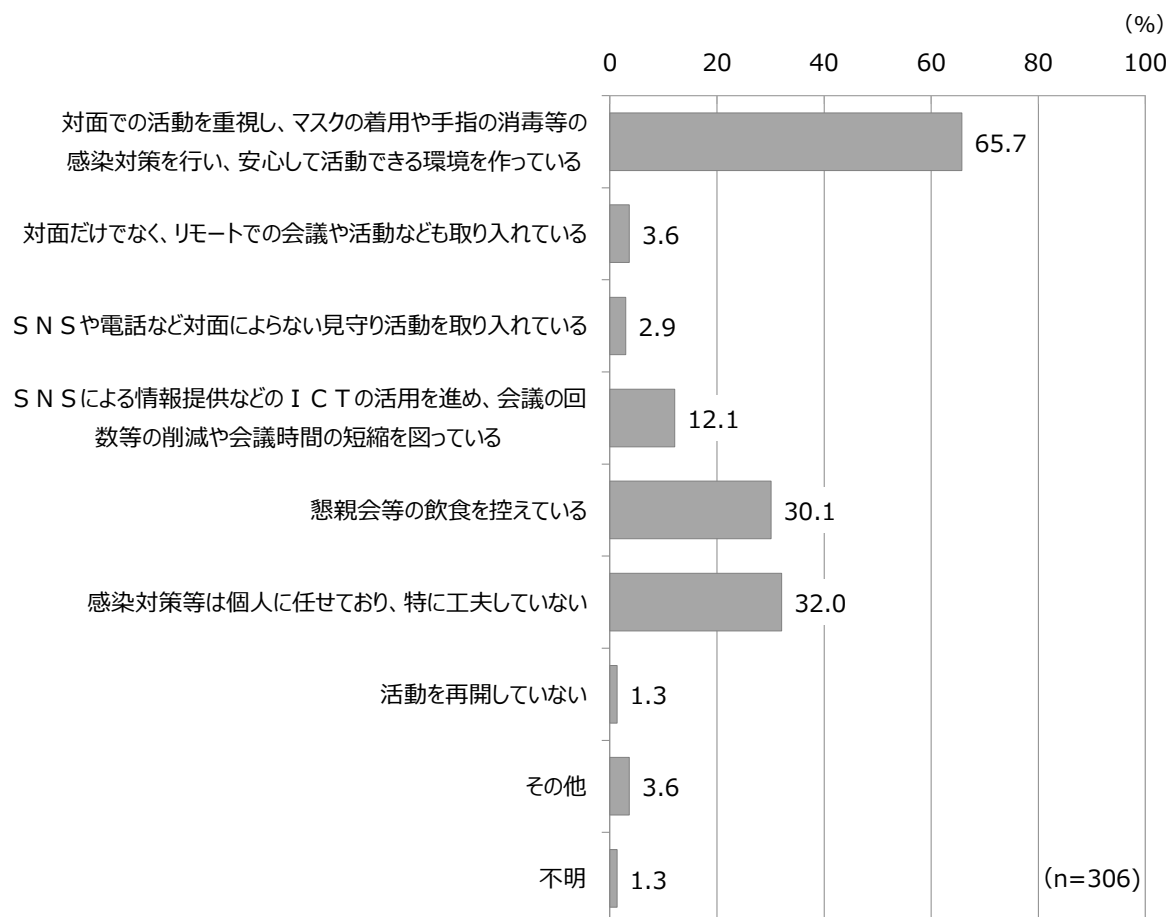
(%)	合計	地域のサロン活動ができなくなった	地域の運動会や祭り、敬老会等のイベントができなくなった	地域の見守りが十分にできなかった	地域の会議などができなくなった	困りごとの相談が増加した	地域の人と話す機会が減った	情報共有や情報提供の機会が減った	特にない	その他	不明
全体 (n=306)	100.0	46.7	86.3	18.0	40.2	1.3	37.9	13.7	1.6	1.3	0.7
自治会役員 (n=166)	100.0	42.2	87.3	6.6	47.0	1.8	36.1	12.0	2.4	1.8	0.6
民生委員・児童委員 (n=149)	100.0	55.0	84.6	32.9	30.2	0.7	40.3	14.8	0.7	1.3	0.7

地区別をみると、すべての地区で「地域の運動会や祭り、敬老会等のイベントができなくなった」が高くなっています。

(%)	合計	地域のサ ロン活動 ができなく なった	地域の運 動会や祭 り、敬老 会等のイ ベントがで きなくなっ た	地域の見 守りが十 分にでき なかった	地域の会 議などが できなく なった	困りごと の相談が増 加した	地域の人 と話をする 機会が減 った	情報共有 や情報提 供の機会 が減った	特にな い	その他	不明
全体 (n=306)	100.0	46.7	86.3	18.0	40.2	1.3	37.9	13.7	1.6	1.3	0.7
亀岡地区 (n=52)	100.0	53.8	71.2	21.2	36.5	1.9	38.5	11.5	0.0	0.0	1.9
南部地区 (n=39)	100.0	59.0	92.3	17.9	35.9	0.0	23.1	10.3	2.6	2.6	0.0
西部地区 (n=35)	100.0	57.1	80.0	11.4	42.9	5.7	25.7	34.3	0.0	0.0	0.0
中部地区 (n=61)	100.0	41.0	91.8	18.0	42.6	1.6	54.1	8.2	1.6	3.3	0.0
川東地区 (n=44)	100.0	36.4	86.4	6.8	45.5	0.0	52.3	20.5	0.0	0.0	2.3
篠地区 (n=42)	100.0	23.8	85.7	28.6	38.1	0.0	31.0	11.9	7.1	2.4	0.0
つつじヶ丘地区 (n=31)	100.0	64.5	100.0	22.6	35.5	0.0	29.0	0.0	0.0	0.0	0.0

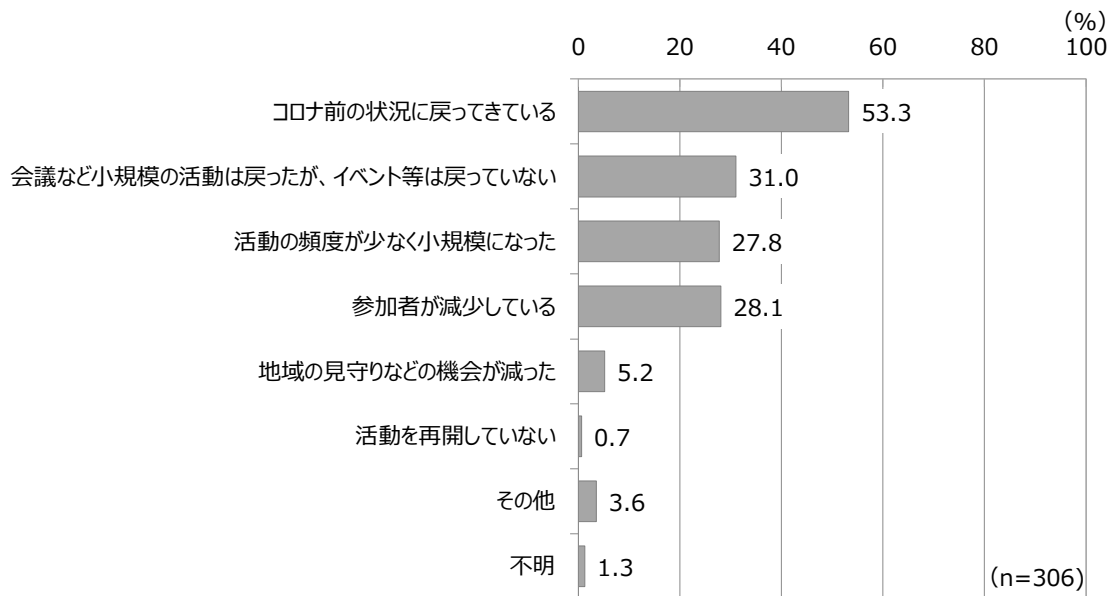
問23 新型コロナウイルス感染症が5類へ移行し、地域活動が再開されていると思いますが、再開にあたり工夫していることはありますか。〈複数回答〉* 3つまで

地域活動の再開にあたり工夫していることをみると、「対面での活動を重視し、マスクの着用や手指の消毒等の感染対策を行い、安心して活動できる環境を作っている」が65.7%と最も高く、次いで「感染対策等は個人に任せており、特に工夫していない」が32.0%、「懇親会等の飲食を控えている」が30.1%となっています。



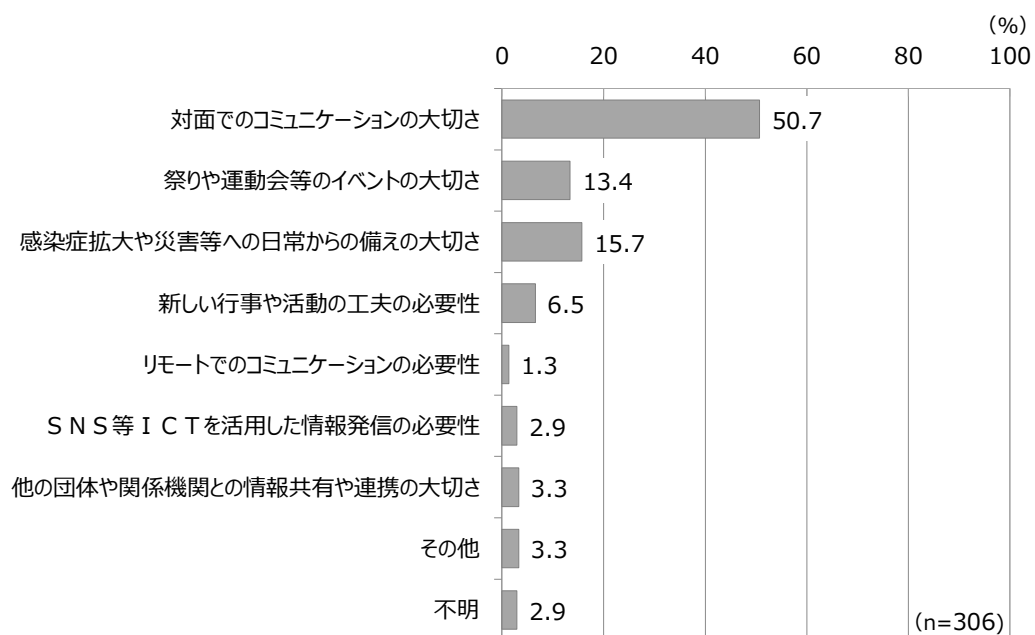
問24 新型コロナウイルス感染症の5類への移行後、地域活動はコロナ前の状況に戻ってきていますか。〈複数回答〉* 3つまで

地域活動がコロナ前の状況に戻ってきているかをみると、「コロナ前の状況に戻ってきている」が53.3%と最も高く、次いで「会議など小規模の活動は戻ったが、イベント等は戻っていない」が31.0%、「参加者が減少している」が28.1%となっています。



問25 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を経て、気づけたことは何ですか。〈単数回答〉

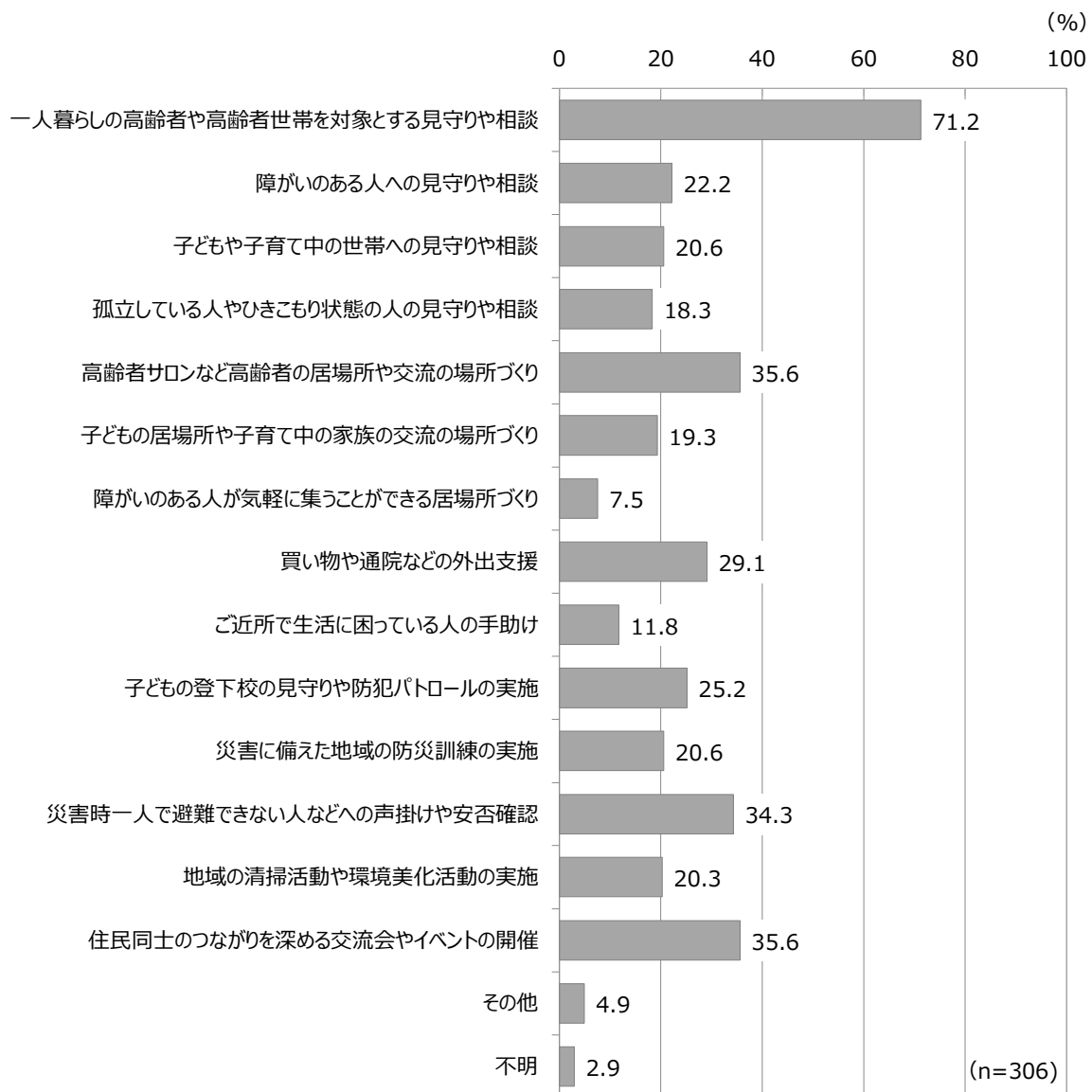
新型コロナウイルス感染症の感染拡大を経て気づけたことをみると、「対面でのコミュニケーションの大切さ」が50.7%と最も高く、次いで「感染症拡大や災害等への日常からの備えの大切さ」が15.7%、「祭りや運動会等のイベントの大切さ」が15.7%となっています。



5. 今後の取組について

問26 地域で安心して暮らしていくためには、今後どのような支えあいや助けあいの活動に力をいれていくべきだと思いますか。〈複数回答〉* 5つまで

今後どのような活動に力を入れるべきかをみると、「一人暮らしの高齢者や高齢者世帯を対象とする見守りや相談」が71.2%と最も高く、次いで「高齢者サロンなど高齢者の居場所や交流の場所づくり」「住民同士のつながりを深める交流会やイベントの開催」が35.6%、「災害時一人で避難できない人などへの声掛けや安否確認」が34.3%となっています。



地区別をみると、すべての地区で「一人暮らしの高齢者や高齢者世帯を対象とする見守りや相談」が最も高くなっています。次いで高いものとして、亀岡地区、南部地区、西部地区では「高齢者サロンなど高齢者の居場所や交流の場所づくり」、中部地区では「子どもの登下校の見守りや防犯パトロールの実施」、川東地区、篠地区では「災害時一人で避難できない人などへの声掛けや安否確認」、つつじヶ丘地区では「住民同士のつながりを深める交流会やイベントの開催」が高くなっています。

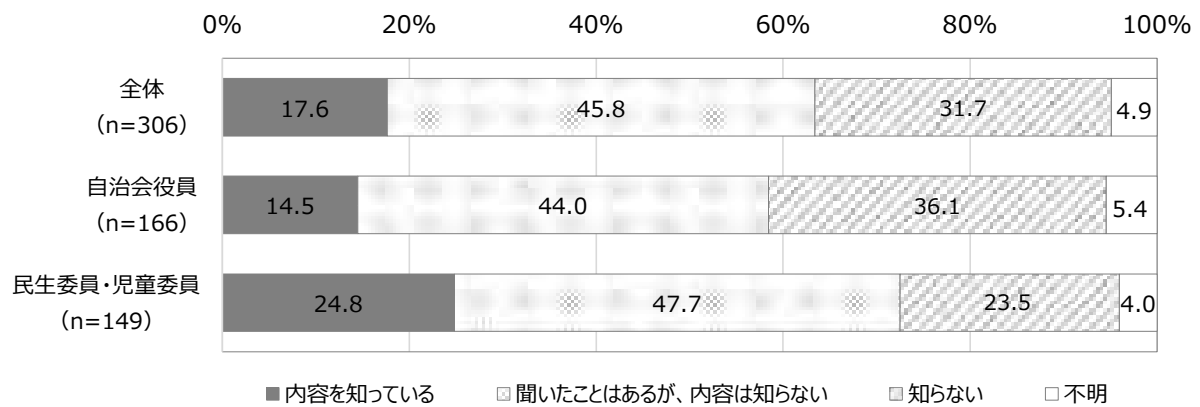
(%)	合計	一人暮らしの高齢者や高齢者世帯を対象とする見守りや相談	障がいのある人への見守りや相談	子どもや子育て中の世帯への見守りや相談	孤立している人やひきこもり状態の人の見守りや相談	高齢者サロンなど高齢者の居場所や交流の場所づくり	子どもの居場所や子育て中の家族の交流の場所づくり	障がいのある人が気軽に集うことができる居場所づくり	買い物や通院などの外出支援
全体 (n=306)	100.0	71.2	22.2	20.6	18.3	35.6	19.3	7.5	29.1
亀岡地区 (n=52)	100.0	69.2	25.0	28.8	19.2	46.2	17.3	11.5	13.5
南部地区 (n=39)	100.0	61.5	25.6	7.7	15.4	46.2	7.7	10.3	46.2
西部地区 (n=35)	100.0	80.0	28.6	22.9	25.7	51.4	22.9	11.4	48.6
中部地区 (n=61)	100.0	65.6	23.0	23.0	24.6	23.0	18.0	3.3	27.9
川東地区 (n=44)	100.0	75.0	13.6	15.9	11.4	29.5	20.5	4.5	31.8
篠地区 (n=42)	100.0	76.2	16.7	16.7	14.3	26.2	19.0	2.4	14.3
つつじヶ丘地区 (n=31)	100.0	77.4	25.8	29.0	12.9	32.3	35.5	12.9	32.3

(%)	ご近所で生活に困っている人の手助け	子どもの登下校の見守りや防犯パトロールの実施	災害に備えた地域の防災訓練の実施	災害時一人で避難できない人などへの声掛けや安否確認	地域の清掃活動や環境美化活動の実施	住民同士のつながりを深める交流会やイベントの開催	その他	不明
全体 (n=306)	11.8	25.2	20.6	34.3	20.3	35.6	4.9	2.9
亀岡地区 (n=52)	7.7	28.8	25.0	38.5	21.2	28.8	0.0	1.9
南部地区 (n=39)	15.4	17.9	23.1	23.1	12.8	38.5	7.7	7.7
西部地区 (n=35)	11.4	14.3	8.6	25.7	8.6	34.3	11.4	0.0
中部地区 (n=61)	11.5	41.0	18.0	29.5	26.2	31.1	4.9	4.9
川東地区 (n=44)	13.6	22.7	29.5	52.3	22.7	43.2	0.0	0.0
篠地区 (n=42)	9.5	23.8	21.4	45.2	23.8	33.3	7.1	2.4
つつじヶ丘地区 (n=31)	16.1	12.9	16.1	19.4	22.6	45.2	6.5	3.2

問27 亀岡市地域福祉計画について知っていますか。〈単数回答〉

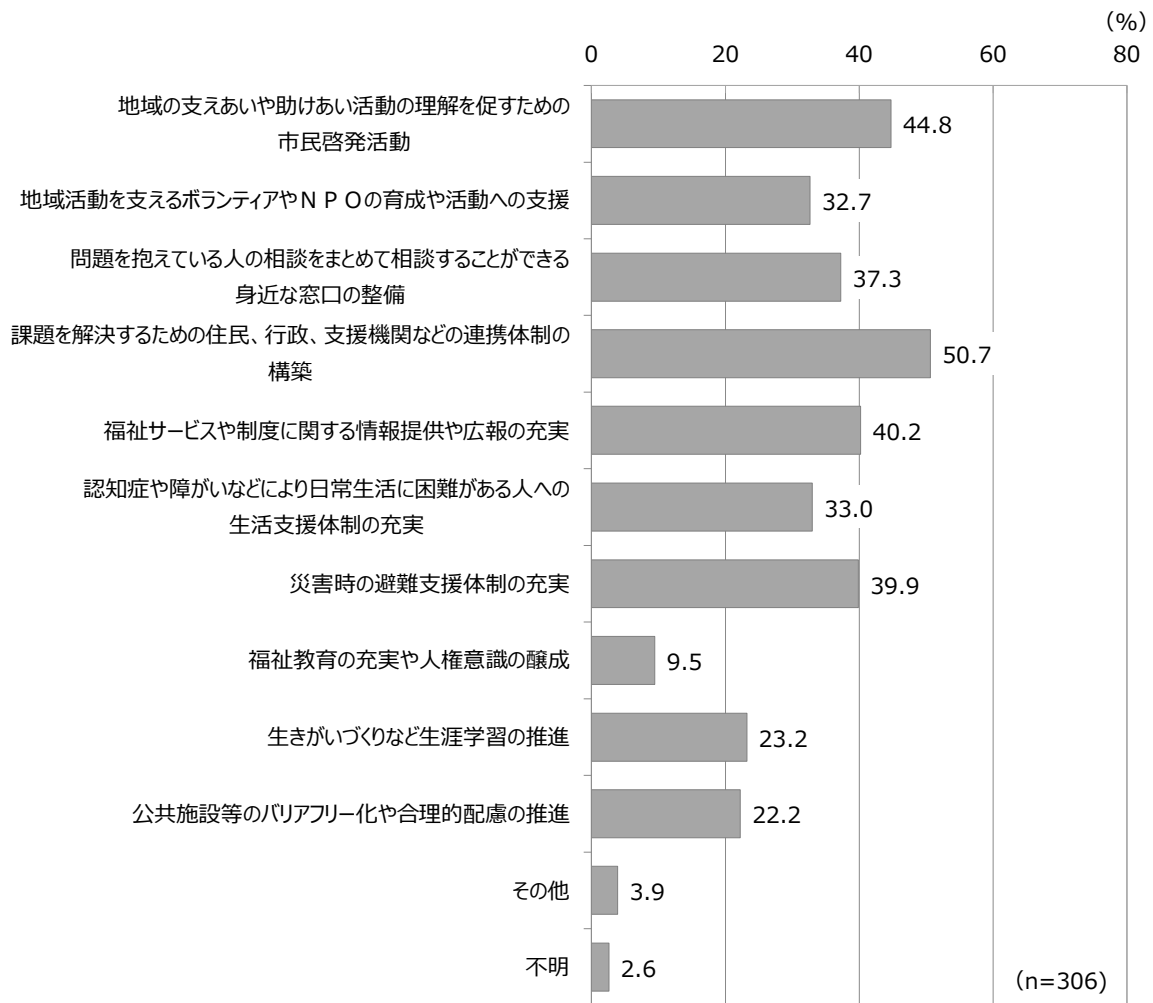
亀岡市地域福祉計画の認知度をみると、「内容を知っている」は17.6%、「聞いたことはあるが、内容は知らない」が45.8%、「知らない」が31.7%となっています。

役割別をみると、「内容を知っている」は、自治会役員では14.5%、民生委員・児童委員では24.8%となっています。



問28 誰もが安心して暮らせる地域づくりのために、亀岡市はどのような施策に取り組むべきだと思いますか。〈複数回答〉* 5つまで

亀岡市が取り組むべき施策をみると、「課題を解決するための住民、行政、支援機関などの連携体制の構築」が50.7%と最も高く、次いで「地域の支えあいや助けあい活動の理解を促すための市民啓発活動」が44.8%、「福祉サービスや制度に関する情報提供や広報の充実」が40.2%となっています。



地区別をみると、亀岡地区、西部地区、中部地区、つつじヶ丘地区では「課題を解決するための住民、行政、支援機関などの連携体制の構築」、南部地区では「福祉サービスや制度に関する情報提供や広報の充実」、川東地区では「災害時の避難支援体制の充実」、篠地区では「地域の支えあいや助けあい活動の理解を促すための市民啓発活動」「課題を解決するための住民、行政、支援機関などの連携体制の構築」が高くなっています。

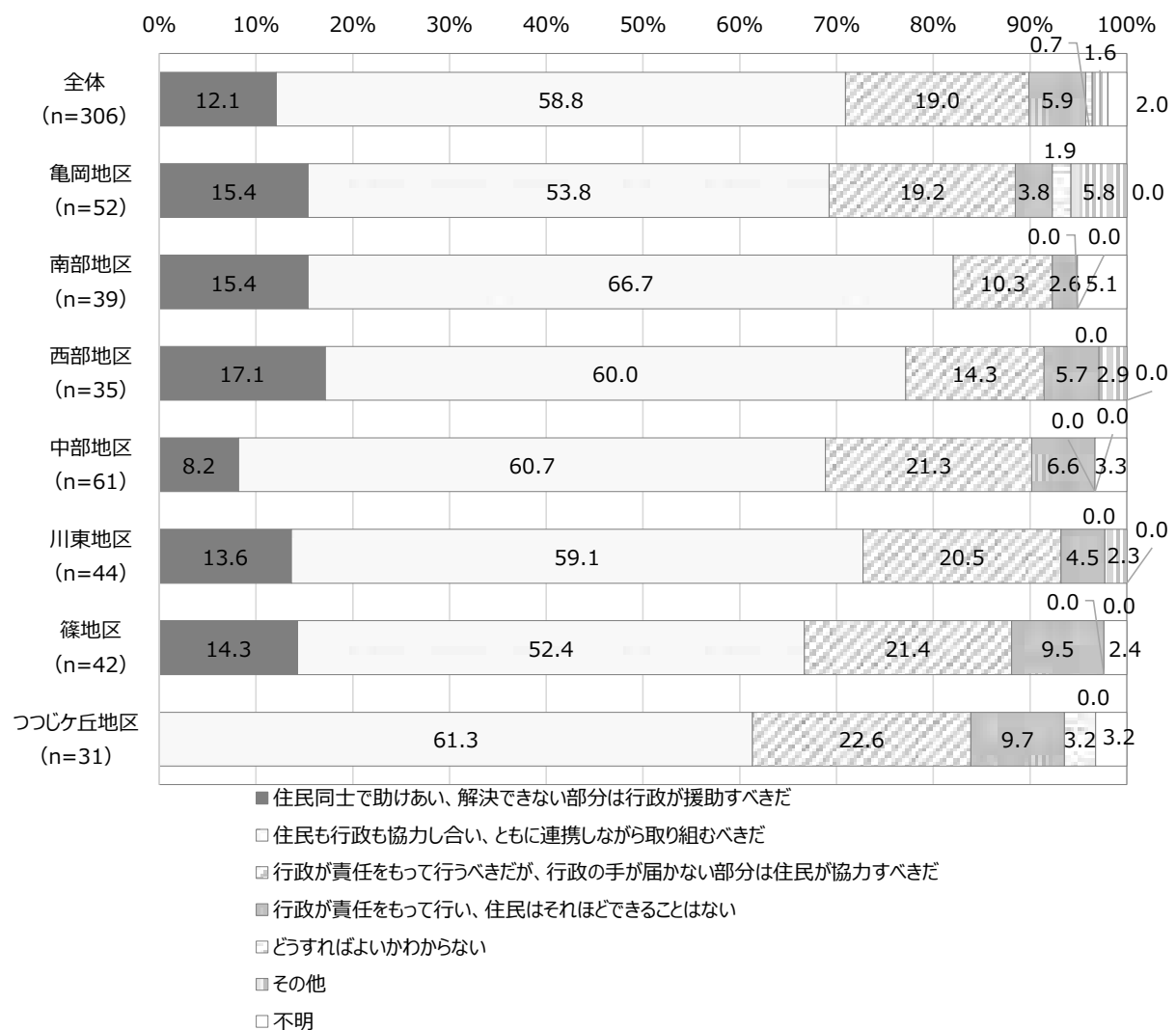
(%)	合計	地域の支えあいや助けあい活動の理解を促すための市民啓発活動	地域活動を支えるボランティアやNPOの育成や活動への支援	問題を抱えている人の相談をまとめて相談することができる身近な窓口の整備	課題を解決するための住民、行政、支援機関などの連携体制の構築	福祉サービスや制度に関する情報提供や広報の充実	認知症や障がいなどにより日常生活に困難がある人への生活支援体制の充実	災害時の避難支援体制の充実	福祉教育の充実や人権意識の醸成
全体 (n=306)	100.0	44.8	32.7	37.3	50.7	40.2	33.0	39.9	9.5
亀岡地区 (n=52)	100.0	48.1	36.5	44.2	50.0	32.7	28.8	36.5	11.5
南部地区 (n=39)	100.0	38.5	41.0	30.8	43.6	46.2	23.1	38.5	12.8
西部地区 (n=35)	100.0	57.1	42.9	40.0	60.0	40.0	34.3	51.4	5.7
中部地区 (n=61)	100.0	41.0	31.1	29.5	52.5	39.3	41.0	45.9	9.8
川東地区 (n=44)	100.0	34.1	29.5	36.4	45.5	50.0	36.4	52.3	15.9
篠地区 (n=42)	100.0	54.8	21.4	47.6	54.8	40.5	26.2	28.6	7.1
つつじヶ丘地区 (n=31)	100.0	41.9	25.8	35.5	48.4	35.5	38.7	22.6	0.0

(%)	生きがいづくりなど生涯学習の推進	公共施設等のバリアフリー化や合理的配慮の推進	その他	不明
全体 (n=306)	23.2	22.2	3.9	2.6
亀岡地区 (n=52)	26.9	25.0	0.0	0.0
南部地区 (n=39)	33.3	20.5	5.1	5.1
西部地区 (n=35)	25.7	11.4	8.6	0.0
中部地区 (n=61)	24.6	29.5	4.9	3.3
川東地区 (n=44)	22.7	20.5	2.3	2.3
篠地区 (n=42)	11.9	26.2	4.8	2.4
つつじヶ丘地区 (n=31)	16.1	12.9	3.2	6.5

問29 今後、誰もが安心して暮らせる地域づくりのために、住民と行政の関係はどうあるべきだと思いますか。〈単数回答〉

今後、住民と行政の関係はどうあるべきかをみると、「住民も行政も協力し合い、ともに連携しながら取り組むべきだ」が58.8%と最も高く、次いで「行政が責任をもって行うべきだが、行政の手が届かない部分は住民が協力すべきだ」が19.0%、「住民同士で助けあい、解決できない部分は行政が援助すべきだ」が12.1%となっています。

地区別をみると、すべての地区で「住民も行政も協力し合い、ともに連携しながら取り組むべきだ」が高くなっています。



亀岡市 地域福祉に関するアンケート調査
【結果報告書】

発行年月：令和5年10月

発行：亀岡市

住所：〒621-8501 京都府亀岡市安町野々神8番地

TEL：0771-25-5029 FAX：0771-24-3070
